Pioneer

DJ コントローラー

DDJ-T1

このたびは、パイオニア製品をお買い上げいただきまして、まことにありがとうございます。
本機には、以下の3種類の説明書が付属されています。

DDJ-T1 取扱説明書（本書）
TRAKTOR 2 Application Reference（付属DVD-ROM PDFファイル）
TRAKTOR 2 Getting Started（付属DVD-ROM PDFファイル）

製品の性能を十分に発揮させて効果的にご利用いただくために、本書をよくお読みのうえ、正しくお使いください。
TRAKTOR 2 Application ReferenceおよびTRAKTOR 2 Getting Startedは、TRAKTOR 2をインストール後にTRAKTOR 2のヘルプメニューからご覧いただけます。
これらの説明書は、「保証書」、「サービス窓口のご案内」と一緒に保管してください。

ご相談窓口・修理窓口のご案内

お取り扱いにお困りのとき、本書の巻末をご覧ください。

http://www.prodjnet.com/support/

上記の弊社ホームページでは、困ったときのよくある質問やソフトウェアの情報など、より快適に製品をお使いいただくための各種情報やサービスを提供しております。

取扱説明書

もくじ

本書の見かた

本書では、製品本体に表示されているチャンネル名、ボタン名、および ソフトウェア上のメニュー名などを、[ ] で囲んで記載しています。(例: [**MASTER**] チャンネル、[**ON**/**OFF**]、[**ファイル**] メニュー)

01 安全上のご注意

警告 3
注意 3
設置場所について 4
製品のお手入れについて 4

02 はじめに

本機の特長 5
システムセットアップ例 5
付属品を確認する 5
AC アダプターについて 6
LAPTOP DOCK を使う 7
脚を取り外して使う 7

03 準備する

TRAKTOR 2 ソフトウェアについて 8
TRAKTOR 2 ソフトウェアをインストールする 8
TRAKTOR 2 を起動する 10
製品アクティベーションを行う 10
TRAKTOR 2 ソフトウェアをアップデートする 11
ドライバソフトウェアについて (Windows) 12

04 接続する

各端子の名称 14
入力 / 出力端子に接続する 15

05 各部の名前とはたらき

コントロールパネル 16
1 ブラウザ 17
2 デッキ 18
3 ミキサー 20
4 エフェクト 21

06 操作する

TRAKTOR 2 にトラックをインポートする 22
デッキにトラックをロードする 22
再生する 22
ミキサー機能を使う 23
エフェクト機能を使う 23
再生速度を他のデッキに同期させる (ビートシンク) 23
外部機器またはマイクの音声を入力する 24

07 TRAKTOR 2 の環境設定を変更する

TRAKTOR Pioneer DDJ-T1 EDITION 2 設定項目一覧 25
[**NEEDLE SEARCH**] パッドにお好みの機能をアサインする 25

08 その他

故障かな？と思ったら 26
他の DJ ソフトウェアのコントローラーとして使用する 27
MIDI メッセージ一覧 28
保証とアフターサービス 31
商標および登録商標について 31
著作権についてのご注意 31
仕様 32

安全上のご注意

- 安全にお使いいただくために、必ずお守りください。
- ご使用の前にこの「安全上のご注意」をよくお読みのうえ、正しくお使いください。

この取扱説明書および製品には、製品を安全に正しくお使いいただき、あなたや他の方々への危害や財産への損害を未然に防止するために、いろいろな絵表示をしています。その表示と意味は次のようになっています。内容をよく理解してから本文をお読みください。

⚠ 警告

この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。

⚠ 注意

この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が損害を負う可能性が想定される内容、および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

絵表示の例

△記号は注意（警告を含む）しなければならない内容であることを示しています。図の中に具体的な注意内容（左図の場合は感電注意）が描かれています。

⦸記号は禁止（やってはいけないこと）を示しています。図の中に具体的な禁止内容（左図の場合は分解禁止）が描かれています。

●記号は行動を強制したり指示する内容を示しています。図の中に具体的な指示内容（左図の場合は AC アダプターをコンセントから抜く）が描かれています。

⚠ 警告

異常時の処置

万一煙が出ている、変なにおいや音がするなどの異常状態のまま使用すると火災･感電の原因となります。すぐに機器本体の電源スイッチを切り、必ず USB ケーブルを本機から抜き、AC アダプターをコンセントから抜いてください。煙が出なくなるのを確認して販売店に修理をご依頼ください。お客様による修理は危険ですから絶対おやめください。

万一内部に水や異物等が入った場合は、まず機器本体の電源スイッチを切り、USB ケーブルを本機から抜き、AC アダプターをコンセントから抜いて販売店にご連絡ください。そのまま使用すると火災･感電の原因となります。

万一本機を落としたり、カバーを破損した場合は、機器本体の電源スイッチを切り、USB ケーブルを本機から抜き、AC アダプターをコンセントから抜いて販売店にご連絡ください。そのまま使用すると火災・感電の原因となります。

設置

AC アダプターの刃および刃の付近にほこりや金属物が付着している場合は、AC アダプターを抜いてから乾いた布で取り除いてください。そのまま使用すると火災・感電の原因となります。

AC アダプターのコードの上に重い物を載せたり、コードが本機の下敷きにならないようにしてください。また、AC アダプターのコードが引っ張られないようにしてください。コードが傷ついて、火災･感電の原因となります。コードの上を敷物などで覆うことにより、それに気付かず、重い物を載せてしまうことがあります。

放熱をよくするため他の機器、壁等から間隔をとり、ラックなどに入れるときはすき間をあけてください。また、次のような使い方で通風孔をふさがないでください。内部に熱がこもり、火災の原因となることがあります。

- あおむけや横倒し、逆さまにする。
- 押し入れなど、風通しの悪い狭いところに押し込む。
- じゅうたんやふとんの上に置く。
- テーブルクロスなどをかける。

付属の AC アダプターはこの機器のみで使用することを目的とした専用品です。他の電気製品ではご使用になれません。他の電気製品で使用した場合、発熱により火災・感電の原因となることがあります。また AC アダプターは本製品に付属のもの以外は使用しないでください。他の AC アダプターを使用した場合、この機器の本来の性能が出ないことや、電流容量不足による発熱により火災・感電の原因となることがあります。

使用環境

この機器に水が入ったり、ぬらさないようにご注意ください。火災･感電の原因となります。雨天、降雪中、海岸、水辺での使用は特にご注意ください。

風呂場、シャワー室等では使用しないでください。火災・感電の原因となります。

表示された電源電圧以外の電圧で使用しないでください。火災・感電の原因となります。

この機器を使用できるのは日本国内のみです。船舶などの直流（DC）電源には接続しないでください。火災の原因となります。

使用方法

本機の上に花びん、植木鉢、コップ、化粧品、薬品や水などの入った容器または小さな金属物を置かないでください。こぼれたり、中に入った場合、火災・感電の原因となります。

ぬれた手で AC アダプターを抜き差ししないでください。感電の原因となることがあります。

本機の通風孔などから、内部に金属類や燃えやすいものなどを差し込んだり、落とし込んだりしないでください。火災・感電の原因となります。特にお子様のいるご家庭ではご注意ください。

本機や AC アダプターのカバーを外したり、改造したりしないでください。内部には電圧の高い部分があり、火災・感電の原因となります。内部の点検・整備・修理は販売店にご依頼ください。

AC アダプターのコードを傷つけたり、加工したり、無理に曲げたり、ねじったり、引っ張ったり、加熱したりしないでください。コードが破損して火災・感電の原因となります。コードが傷んだら（芯線の露出、断線など）、販売店に交換をご依頼ください。

雷が鳴り出したらアンテナ線や AC アダプターには触れないでください。感電の原因となります。

⚠ 注意

設置

AC アダプターは、コンセントに根元まで確実に差し込んでください。差し込みが不完全ですと発熱したり、ほこりが付着して火災の原因となることがあります。また、AC アダプターの刃に触れると感電することがあります。

AC アダプターは、根元まで差し込んでもゆるみがあるコンセントに接続しないでください。発熱して火災の原因となることがあります。販売店や電気工事店にコンセントの交換を依頼してください。

ぐらついた台の上や傾いたところなど不安定な場所に置かないでください。落ちたり、倒れたりしてけがの原因となることがあります。

本機を調理台や加湿器のそばなど油煙、湿気あるいはほこりの多い場所に置かないでください。火災・感電の原因となることがあります。

テレビ、オーディオ機器、スピーカー等に機器を接続する場合は、それぞれの機器の取扱説明書をよく読み、電源を切り、説明に従って接続してください。また、接続は指定のコードを使用してください。

本機の上に重いものや外枠からはみ出るような大きなものを置かないでください。バランスがくずれて倒れたり、落下してけがの原因となることがあります。

AC アダプターを抜く時は、コードを引っ張らないでください。コードが傷つき火災・感電の原因となることがあります。必ず AC アダプター本体を持って抜いてください。

AC アダプターのコードを熱器具に近づけないでください。コードの被ふくが溶けて、火災・感電の原因となることがあります。

AC アダプターのコードや USB ケーブルなどを AC アダプターに巻きつけないでください。断線や故障の原因になることがあります。

移動させる場合は、電源スイッチを切り必ず USB ケーブルを本機から抜き、AC アダプターをコンセントから抜いて、外部の接続コードを外してから、行ってください。コードが傷つき火災・感電の原因となることがあります。

窓を閉め切った自動車の中や直射日光が当たる場所など、異常に温度が高くなる場所に放置しないでください。火災の原因となることがあります。

本機の上に火がついたろうそくなどの裸火を置かないでください。火災の原因となります。

使用方法

本機に乗ったり、ぶら下がったりしないでください。特にお子様はご注意ください。倒れたり、壊れたりしてけがの原因になることがあります。

ヘッドホンをご使用になる時は、音量を上げすぎないようにご注意ください。耳を刺激するような大きな音量で長時間続けて聞くと、聴力に悪い影響を与えることがあります。

旅行などで長期間ご使用にならないときは、安全のため必ず USB ケーブルを本機から抜き、AC アダプターをコンセントから抜いてください。

保守・点検

5 年に一度くらいは内部の掃除を販売店などにご相談ください。内部にほこりがたまったまま、長い間掃除をしないと火災や故障の原因となることがあります。特に湿気の多くなる梅雨期の前に行うとより効果的です。なお、掃除費用については販売店などにご相談ください。

お手入れの際は安全のために USB ケーブルを本機から抜き、AC アダプターをコンセントから抜いて行ってください。

設置場所について

- 熱を発生するアンプなどの上に直接置いたり、スポットライトなどの近くで長時間使用すると、本体に悪い影響を与えますので、おやめください。
- チューナーやテレビから離して設置してください。近くに置いた場合は、雑音や映像の乱れが生じることがあります。なお、雑音や映像の乱れは室内アンテナをご使用の場合に起こりやすく、このようなときは、屋外アンテナを使用するか、本機の電源を切ってください。
- 本機は水平で堅牢な床のある場所に設置してください。

製品のお手入れについて

通常は、柔らかい布でから拭きしてください。汚れがひどい場合は水で 5 ～ 6 倍に薄めた中性洗剤に柔らかい布を浸してよく絞ったあと、汚れを拭き取り、そのあと乾いた布で拭いてください。アルコール、シンナー、ベンジン、殺虫剤などが付着すると印刷、塗装などがはげることがありますのでご注意ください。また、ゴムやビニール製品を長時間触れさせることも、キャビネットを傷めますので避けてください。化学ぞうきんなどをお使いの場合は、化学ぞうきんなどに添付の注意事項をよくお読みください。
お手入れの際は、AC アダプターをコンセントから抜いて行ってください。

この装置は、クラス B 情報技術装置です。この装置は、家庭環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。
取扱説明書に従って正しい取り扱いをしてください。

VCCI-B

AC アダプター（遮断装置）は、容易に接近できるコンセントへ接続してください。

D28-9-3-2_A1_Ja

本機の使用環境について
本機の使用環境温度範囲は5 ℃～35 ℃、使用環境湿度は85 %以下(通風孔が妨げられていないこと)です。
風通しの悪い所や湿度が高すぎる場所、直射日光（または人工の強い光）の当たる場所に設置しないでください。

D3-4-2-1-7c_A1_Ja

愛情点検

長年ご使用のAV機器の点検を!

このような症状はありませんか	・ACアダプターやACアダプターのコードが異常に熱くなる。 ・ACアダプターのコードにさけめやひび割れがある。 ・電源が入ったり切れたりする。 ・本体から異常な音、熱、臭いがする。	➡	ご使用中止	故障や事故防止のため、すぐに電源を切り、USBケーブルを本機から抜き、ACアダプターをコンセントから抜いて、必ず販売店にご相談ください。

K026*_A1_Ja_PSV

はじめに

本機の特長

本製品は、クラブ機器の世界標準であるパイオニア製 DJ ハードウェアと Native Instruments 社製 DJ ソフトウェア「TRAKTOR Pioneer DDJ-T1 EDITION 2」を組み合わせたホーム DJ 向けオールインワン DJ システムです。本製品とコンピュータをつなぐだけで本格的な DJ プレイを楽しめます。

LAYOUT

本機のエフェクトセクションの操作パネルは、TRAKTOR 2 操作画面と同じレイアウトで配置されているため、パフォーマンス時に迷わず操作できます。プレーヤーセクションおよびミキサーセクションの操作パネルは、パイオニア製 DJ ハードウェアのレイアウトを採用しているため、直感的かつ確実に操作できます。

4 DECK CONTROL

[**LOAD**] ボタンや [**MASTER**] ボタン /[**SYNC**] ボタンをそれぞれのデッキに装備した、4 チャンネルのミキサーを搭載しています。今まで複雑だった 4 チャンネルをすべて使った DJ パフォーマンスをより簡単に実現できます。

TRAKTOR Pioneer DDJ-T1 EDITION 2

TRAKTOR Pioneer DDJ-T1 EDITION 2 は、DDJ-T1 専用の TRAKTOR 2 ソフトウェアです。すべてのボタンやツマミは、あらかじめソフトウェアと連動するよう設定されていますので、本機をコンピュータにつなぐだけですぐに DJ プレイを楽しめます (プラグアンドプレイ)。

LAPTOP DOCK

本機の下にコンピュータのキーボード部分を収納できます。コンピュータと本機が一体となり効率的な DJ システムを構築できます。

USB BUS POWER

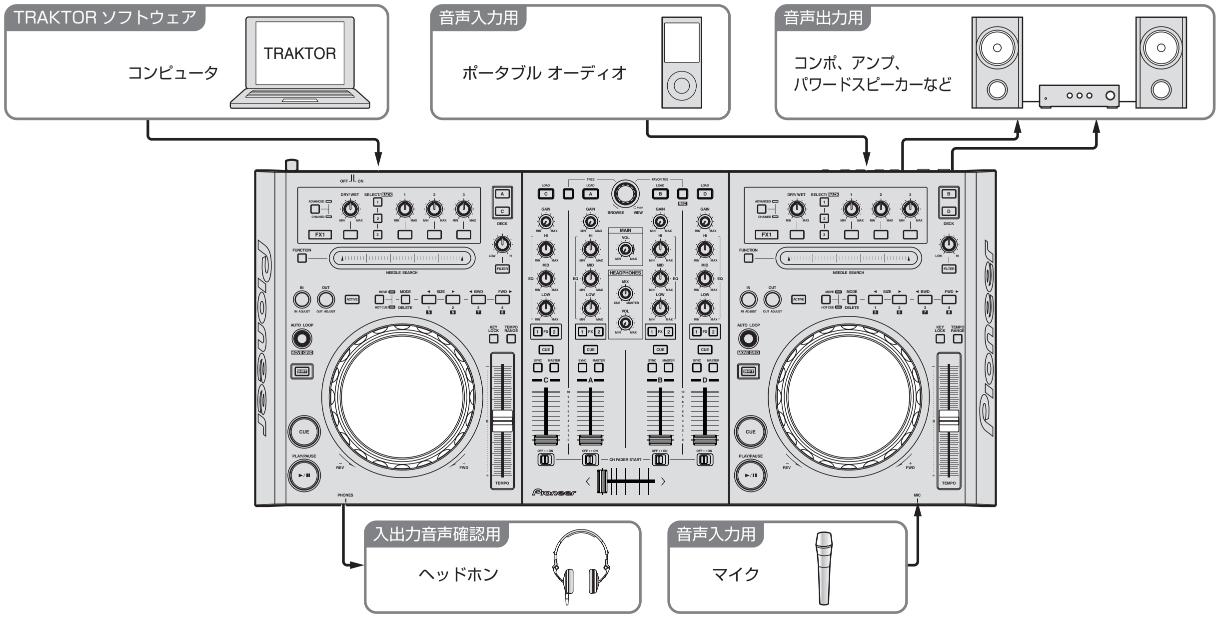
USB バスパワーに対応しています。USB ケーブルで本機とコンピュータをつなぐだけで使うことができます。

HIGH SOUND QUALITY

パイオニア製 DJ ハードウェアで培った音質技術を継承し、クラス最高レベルの音質を実現しています。

システムセットアップ例

本機とコンピュータおよび周辺機器の組み合わせによって、以下の図のような DJ システムを構築できます。



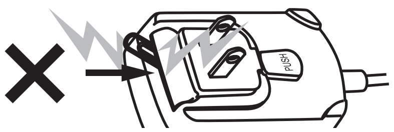
付属品を確認する

- TRAKTOR Pioneer DDJ-T1 EDITION 2 ソフトウェア DVD-ROM
- ドライバソフトウェア CD-ROM
- AC アダプター
- 電源プラグ
- USB ケーブル
- サービス窓口のご案内
- 保証書
- 取扱説明書（本書）

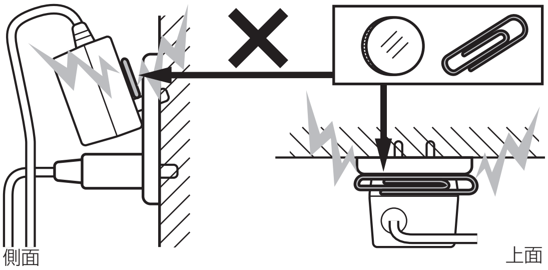
AC アダプターについて

使用上のご注意

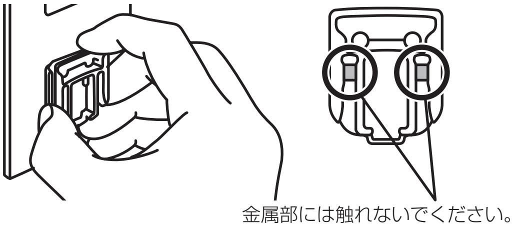
- ほこりの多い場所や、高温·多湿の場所では使用しないでください。
- 振動や衝撃が加わらないようにしてください。
- 異物や水が入らないよう注意してください。
- 不安定な場所や高いところに置かないようにしてください。落下して怪我の原因になることがあります。
- AC アダプターや電源プラグに異常がないことを確認し、電源プラグを AC アダプターの所定の位置に所定の方法でカチリと音がするまで押し込んでください。詳しくは、6ページ の「電源プラグを取り付ける」をご覧ください。
- 必ず、指定した電源に接続してください。
- 本 AC アダプターと接続した機器を移動させる場合は、必ず電源プラグをコンセントから抜き、外部の接続コードを外してから行ってください。コードが傷つき火災や感電の原因となることがあります。
- 内部点検や改造はおやめください。
- ご使用中に本機から異常な音やにおいがしたときは、必ず電源を切ってから、点検を受けてください。
- 本機の外観の清掃は柔らかい布で乾拭きしてください。汚れがひどい場合は中性洗剤を水で 5 ～ 6 倍に薄め、柔らかい布を浸してよく絞った後、汚れを拭き取り、その後乾いた布で拭いてください。ベンジン、シンナー、アルコール、殺虫剤等の揮発性の薬品をかけると表面が侵されることがありますので、使用しないでください。また、化学ぞうきんなどをお使いの場合は化学ぞうきんに添付の注意事項をよくお読みください。
- AC アダプターや電源プラグに異常があったときは、裏表紙に記載の修理受付窓口、またはお買い求めの販売店にご相談ください。
- AC アダプターと電源プラグの間に、コインやクリップなどの金属が挟まった状態で使わないでください。ショートし、火災や感電の原因になります。



- AC アダプターを壁のコンセントに取り付けるとき、AC アダプターと壁のコンセントの間に隙間ができないようにしてください。接触不良や隙間にコインやクリップなどの金属が入ってショートし、火災や感電の原因になります。

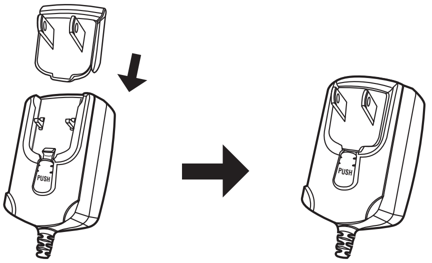


- AC アダプターの電源コードに足が絡まったり、AC アダプターに物がぶつかったりすると、電源プラグが AC アダプターから外れて、コンセントに残ってしまうことがあります。残ってしまった電源プラグは、乾いた手で金属部に触れずに下図のように持って取り外してください。取り外すとき、工具は使わないでください。



電源プラグを取り付ける

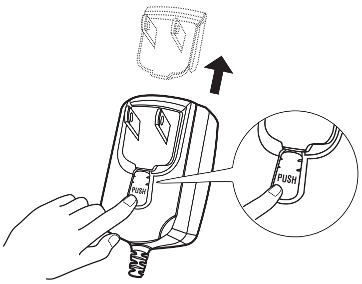
AC アダプター本体のガイドレールに沿って下図のように電源プラグをスライドさせ、カチリと音がするまで押し込む



❖ 電源プラグを取り外す

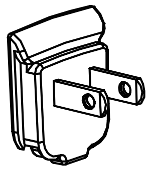
AC アダプター本体の [PUSH] ボタンを押しながら、下図のように電源プラグをアダプターからスライドさせて取り外す

一度、電源プラグを取り付けたあとは、取り外す必要はありません。



電源プラグ

本製品には以下の電源プラグが付属しています。



LAPTOP DOCK を使う

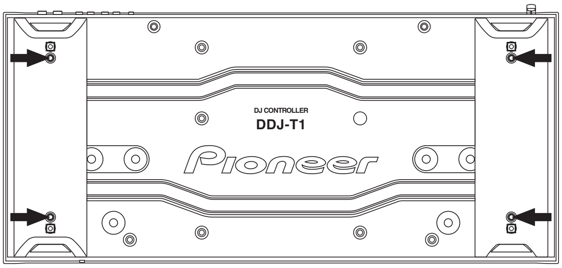
本機の下にコンピュータのキーボード部分を収納できます。

- お使いのコンピュータ（ノート型）のサイズによっては LAPTOP DOCK に収納できないことがあります。
- コンピュータ本体が本機に接触しないように設置してください。
- コンピュータに接続しているケーブル類を本機が踏まないように設置してください。

脚を取り外して使う

本機の 2 本の脚は、取り外すことができます。

左側、右側の脚のネジ（それぞれ 2 カ所）をプラスドライバーで外す



- 取り外したネジは、脚を取り付けるときに必要です。なくさないように保管してください。ほかのネジを使うと正常に取り付けられません。

準備する

TRAKTOR 2 ソフトウェアについて

TRAKTOR Pioneer DDJ-T1 EDITION 2 は DDJ-T1 専用の特別仕様となっています。TRAKTOR Pioneer DDJ-T1 EDITION 2 と TRAKTOR 2 各バージョンとの機能比較は、以下のウェブサイトでご確認ください。
http://www.prodjnet.com/support/

- DDJ-T1 は TRAKTOR PRO 2 および TRAKTOR SCRATCH PRO 2 にも対応しています。
  TRAKTOR PRO 2 および TRAKTOR SCRATCH PRO 2 をお持ちのときは、最新のソフトウェアにアップデートしてお使いください。

TRAKTOR 2 ソフトウェアインストール時のご注意

対応 OS		
Mac OS X	10.5	○
	10.6	○
Windows® 7 Home Premium/Professional/Ultimate	32 ビット版	○
	64 ビット版	○
Windows Vista® Home Basic/Home Premium/Business/Ultimate（SP1 以降）	32 ビット版	○
	64 ビット版	○
Windows® XP Home Edition/Professional（SP3以降）	32 ビット版	○

最新の動作環境、互換性、および最新の OS システムを取得するには、以下の Native Instruments 社のウェブサイトを参照してください。
http://www.native-instruments.com/

TRAKTOR 2 の最低動作環境		
CPU	Mac OS X のとき	Intel® Core™ Duo を搭載した Macintosh コンピュータ
	Windows® 7、Windows Vista® および Windows® XP のとき	2.4 GHz 以上の Intel® Pentium® 4、Intel® Core™ Duo または AMD Athlon™ 64 を搭載した PC/AT 互換コンピュータ
必要メモリー	2 GB 以上の RAM	
ハードディスク	500 MB 以上の空き容量	
DVD ドライブ	DVD-ROM の読み込みが可能な光ディスクドライブ	
インターネット接続	NATIVE INSTRUMENTS ユーザー登録や TRAKTOR 2 ソフトウェアのアップデートなどのためにインターネット接続環境が必要です。 最新のウェブブラウザをお使いください。	
USB2.0 ポート	コンピュータと本機を接続するために USB2.0 ポートが必要です。	

- 上記の動作環境をみたしているすべてのコンピュータにおける動作を保証するものではありません。
- 上記の動作環境に記載されている必要メモリー容量を搭載していても、常駐プログラムやサービスの数によっては、メモリー不足でソフトウェアの機能・性能が発揮できないことがあります。このようなときは、十分な空きメモリーを確保してください。安定した動作をさせるにはメモリーの増設をお勧めします。
- コンピュータの省電力設定などの状態によっては、CPU やハードディスクの処理能力を十分に発揮できないことがあります。特にノート型コンピュータをお使いのときは、AC 電源を接続するなどして、常に高パフォーマンス状態のセッティングで TRAKTOR 2 をお使いください。
- インターネットサービスを提供しているプロバイダーとの契約・料金が別途必要になります。

TRAKTOR 2 ソフトウェアをインストールする

インストール手順について (Windows)

1 付属の TRAKTOR Pioneer DDJ-T1 EDITION 2 ソフトウェア DVD-ROM をコンピュータの DVD ドライブに挿入する

2 Windows の [スタート] メニューから、[コンピュータ (またはマイコンピュータ)] > [Traktor 2] のアイコンをダブルクリックする

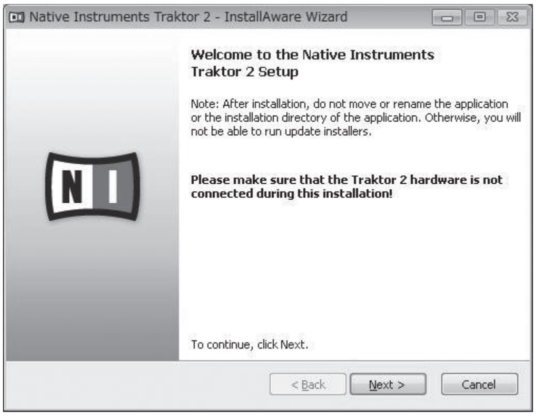
DVD-ROM の内容が表示されます。

3 [Traktor 2 Setup.exe] をダブルクリックする

TRAKTOR 2 インストーラーが起動します。

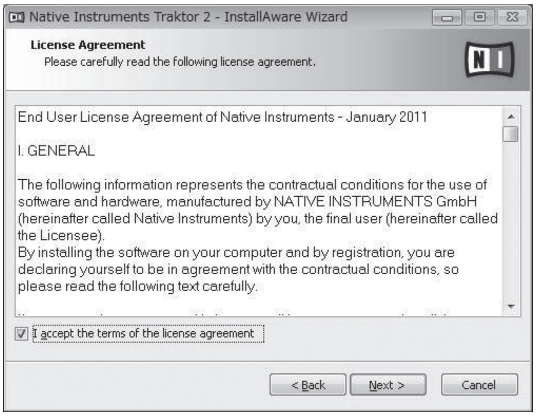
4 TRAKTOR 2 インストーラーが起動したら [Next] をクリックする

— 前の画面へ戻るとき：[**Back**] をクリックします。
— インストールを中止するとき：[**Cancel**] をクリックします。



5 [License Agreement] の内容をよく読み、同意するときは [I accept the terms of the license agreement] にチェックを入れて [Next] をクリックする

[**License Agreement**] の内容に同意しないときは [**Cancel**] をクリックしてインストールを中止してください。



6 TRAKTOR 2 のインストールの種類を選んで [**Next**] をクリックする

通常は [**Controller Editor**] および [**Service Center**] を含む全オプションをインストールしてください。

7 TRAKTOR 2 をインストールする場所を選んで [**Next**] をクリックする

通常のインストール場所を選ぶときは、そのまま [**Next**] をクリックしてください。
任意のインストール場所を選ぶときは、[**Change...**] をクリックしてインストール場所を選んでから [**Next**] をクリックしてください。

8 Native Instruments 社製ハードウェアドライバを選んで [**Next**] をクリックする

お持ちのハードウェアのチェックボックスにチェックを入れてください。

9 Traktor Kontrol X1 または Traktor Kontrol S4 用ドライバをインストールするときはチェックボックスにチェックを入れて [**Next**] をクリックする

10 以下の画面が表示されたら [**Next**] をクリックする

インストールが始まります。
インストールが完了すると、インストール完了画面が表示されます。

11 [**Finish**] をクリックする

インストールが完了します。

インストール手順について (Macintosh)

1 付属の TRAKTOR Pioneer DDJ-T1 EDITION 2 ソフトウェア DVD-ROM をコンピュータの DVD ドライブに挿入する

画面上に [**Traktor 2**] のアイコンが表示されます。

2 [**Traktor 2**] のアイコンをダブルクリックする

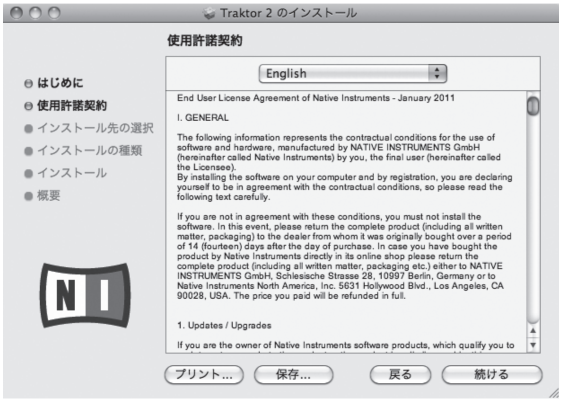
DVD-ROM の内容が表示されます。

3 [**Traktor 2 Installer.mpkg**] をダブルクリックする

TRAKTOR 2 インストーラーが起動します。

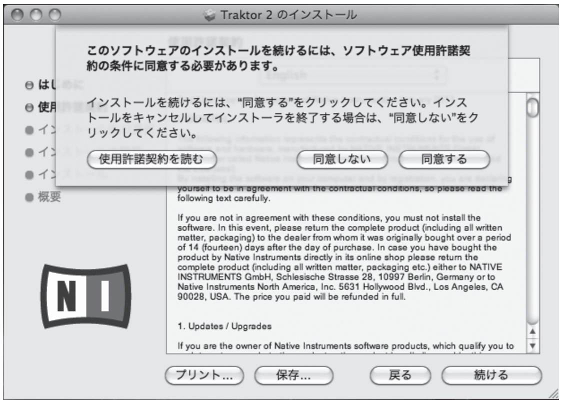
4 TRAKTOR 2 インストーラーが起動したら [続ける] をクリックする

5 使用許諾契約の内容をよく読み [続ける] をクリックする



6 使用許諾契約の内容に同意するときは [同意する] をクリックする

使用許諾契約の内容に同意しないときは [**同意しない**] をクリックしてインストールを中止してください。



7 Native Instruments 社製ハードウェアドライバを選んで [続ける] をクリックする

お持ちのハードウェアのチェックボックスにチェックを入れてください。

8 TRAKTOR 2 をインストールする場所を選んで [インストール] をクリックする

通常のインストール場所を選ぶときは、そのまま [**インストール**] をクリックしてください。
任意のインストール場所を選ぶときは、[**インストール先を変更…**] をクリックしてインストール場所を選んでから [**インストール**] をクリックしてください。
インストールが始まります。
インストールが完了すると、インストール完了画面が表示されます。

9 [再起動] をクリックする
インストールが完了します。

TRAKTOR 2 を起動する

Windows のとき

Windows の [スタート] メニューから、[すべてのプログラム] > [Native Instruments] > [Traktor 2] を開いて、[Traktor 2] のアイコンをクリックする

Mac OS X のとき

Finder で [アプリケーション] フォルダを開いてから [Native Instruments] > [Traktor 2] を開いて、[Traktor] のアイコンをダブルクリックする

製品アクティベーションを行う

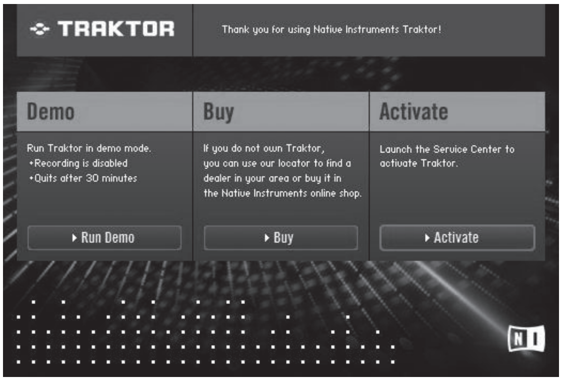
TRAKTOR Pioneer DDJ-T1 EDITION 2 をお使いいただくために、まず Native Instruments SERVICE CENTER (以下、SERVICE CENTER) でソフトウェアの製品アクティベーション (以下、アクティベーション) を行ってください。

SERVICE CENTER の起動方法

以下 3 通りの方法があります。
— TRAKTOR 2 起動時のダイアログから起動する。
— TRAKTOR 2 の [**Help**] メニューから起動する。
— SERVICE CENTER を直接起動する。

❖ TRAKTOR 2 起動時のダイアログから起動するとき

1 TRAKTOR 2 を起動する
以下の画面が表示されます。



- このダイアログは SERVICE CENTER でライセンス取得しないと TRAKTOR 2 起動時に毎回表示されます。

2 ライセンス取得方法を選んでクリックする
— [**Run Demo**]：TRAKTOR 2 をデモモードで起動します。
— [**Buy**]：Native Instruments オンラインショップで TRAKTOR 2 を購入できます。
— [**Activate**]：SERVICE CENTER でただちにライセンスを取得します。

❖ TRAKTOR 2 の [Help] メニューから起動するとき

TRAKTOR 2 の [Help] メニューから [Launch Service Center] をクリックする

❖ SERVICE CENTER を直接起動するとき

Windows のとき
Windows の [**スタート**] メニューから、[**Native Instruments**] > [**Service Center**] > [**Service Center**] のアイコンをクリックする

Mac OS X のとき
Finder で [**アプリケーション**] フォルダを開いてから [**Service Center**] > [**Service Center**] のアイコンをダブルクリックする

アクティベーションの方法

— オンラインアクティベーション：お使いのコンピュータがインターネットに接続されているとき。
— オフラインアクティベーション：お使いのコンピュータがインターネットに接続されていないとき。

❖ オンラインアクティベーション

1 SERVICE CENTER を起動する
ログイン画面が表示されます。

2 E-mail アドレスおよびパスワードを入力してから [ログイン] をクリックする
- はじめてログインするときは、新たにユーザーアカウントを作成する必要があります。
  [**新規ユーザーアカウント作成**] をクリックするとユーザーアカウント新規登録画面が表示されます。
  必須記入項目 (E-mail アドレス、名前、苗字) を入力し、国名 / 地域名を選んでから [**次**] をクリックします。
  登録情報確認画面が表示されたら内容を確認し [**OK**] をクリックします。
  入力した E-mail アドレスにパスワードが送信されるので、ログイン画面に戻ってログインしてください。
- 新規ユーザーアカウントの登録時に入力する個人情報は、Native Instruments 社ウェブサイトの個人情報保護方針に基づき、収集、処理、使用されます。
  パイオニア株式会社では個人情報の収集、処理、使用はしておりません。

3 TRAKTOR Pioneer DDJ-T1 EDITION 2 ソフトウェア DVD-ROM の包装に貼り付けられているシリアル番号を入力し [アクティベート] をクリックする

4 製品ライセンス登録成功画面が表示されたら [終了] をクリックする

❖ オフラインアクティベーション

インターネットに接続されていないコンピュータにインストールした TRAKTOR Pioneer DDJ-T1 EDITION 2をアクティベーションするときは、SERVICE CENTER をオフラインモードで使います。
この方法ではインターネットに接続できる 2 台目のコンピュータが必要です。

1 TRAKTOR Pioneer DDJ-T1 EDITION 2 をインストールするコンピュータ上で SERVICE CENTER を起動する

2 [インターネット接続はしないで続ける] の [オフライン] をクリックする

3 [リクエストファイルを作成する] の [作成する] をクリックする

4 TRAKTOR Pioneer DDJ-T1 EDITION 2 ソフトウェア DVD-ROM の包装に貼り付けられているシリアル番号を入力し [作成する] をクリックする

起動リクエストファイルが作成されるのでUSBデバイスなどに保存します。

5 起動リクエストファイルを保存した USB デバイスをインターネットに接続できるコンピュータにセットする

6 インターネットに接続できるコンピュータ上で起動リクエストファイルをダブルクリックする

ウェブブラウザが起動します。

7 製品アクティベーション画面が表示されたら [送ります] をクリックする

8 E-mail アドレスおよびパスワードを入力してから [SUBMIT] をクリックする

- はじめてログインするときは、新たにユーザーアカウントを作成する必要があります。
  [**No - I do not have an NI account.**] にチェックを入れて [**SUBMIT**] をクリックするとユーザーアカウント新規登録画面が表示されます。
  必須記入項目 (E-mail アドレス、名前、苗字、番地、都市、および郵便番号) を入力し、国名 / 地域名を選んでから [**NEXT**] をクリックします。
  アンケート画面が表示されたらそれぞれの質問への回答を選んでから [**SUBMIT**] をクリックします。
  入力した E-mail アドレスにパスワードが送信されるので、ログイン画面に戻ってログインしてください。
- 新規ユーザーアカウントの登録時に入力する個人情報は、Native Instruments 社ウェブサイトの個人情報保護方針に基づき、収集、処理、使用されます。
  パイオニア株式会社では個人情報の収集、処理、使用はしておりません。

9 [Service Center Activation Page] が表示されたら [NEXT] をクリックする

10 [Product] が [TRAKTOR Pioneer DDJ-T1 EDITION 2] であること、および [Status] が [OK] であることを確認してから [NEXT] をクリックする

起動リターンファイルが作成されるので USB デバイスなどに保存します。

11 TRAKTOR Pioneer DDJ-T1 EDITION 2 をインストールするコンピュータ上で SERVICE CENTER を起動する

12 [インターネット接続はしないで続ける] の [オフライン] をクリックする

13 [アクティベート] タブの [開く] をクリックする

起動リターンファイルをロードします。

14 SERVICE CENTER で製品アクティベーションが完了したことを確認する

TRAKTOR 2 ソフトウェアをアップデートする

コンピュータがインターネットに接続されているとき、Native Instruments SERVICE CENTER (以下、SERVICE CENTER) にアクセスして TRAKTOR 2 ソフトウェアをアップデートできます。

1 SERVICE CENTER を起動しログインする

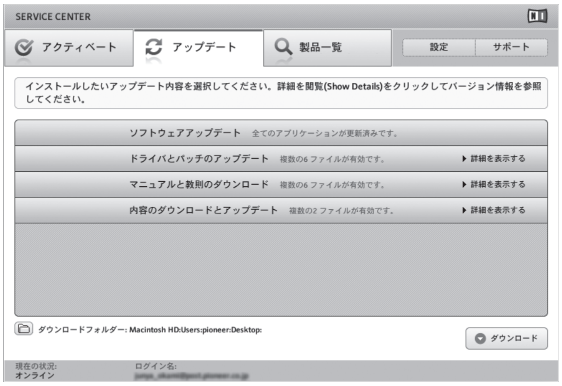
SERVICE CENTER の起動方法およびログインについては、10ページ の「SERVICE CENTER の起動方法」をご覧ください。

2 [アップデート] タブをクリックする

更新できるアップデートを確認します。

3 チェックボックスにチェックを入れる

ダウンロードするアップデートを指定します。



4 [ダウンロード] をクリックする

アップデートを開始します。

ドライバソフトウェアについて (Windows)

本ドライバソフトウェアは、コンピュータからの音声を出力するための専用 ASIO ドライバです。本機を Windows がインストールされているコンピュータに接続してお使いになるときは、あらかじめコンピュータにドライバソフトウェアをインストールしてください。

- Mac OS X をお使いのときは、ドライバソフトウェアをインストールする必要はありません。

ソフトウェア使用許諾契約書

このソフトウェア使用許諾契約書 (以下「本契約」といいます) は、お客様とパイオニア株式会社 (以下「当社」といいます) との間における、DJ 機器用ソフトウェア (以下「本ソフトウェア」といいます) の使用に関する事項を定めるものです。
本ソフトウェアをインストールし、あるいはご利用になるにあたっては、必ず以下の条項をよくお読み下さい。お客様が本ソフトウェアをご利用になった場合は、本契約に同意されたものとします。もし本契約に同意されない場合には、本ソフトウェアのインストール及びご利用をおやめ下さい。

(使用許諾)

本契約の内容に従うことを条件として、お客様は、本ソフトウェアを一台のパーソナル･コンピュータにインストールして使用することができます。

(制限事項)

お客様は、本ソフトウェアの複製物を作成しあるいは配布し、またはネットワークを通じあるいは一台のコンピュータから別のコンピュータに送信してはなりません。また、お客様は、本ソフトウェアの改変、販売、貸与、譲渡、転売、本ソフトウェアの二次的著作物の頒布又は作成等をすることはできず、さらに、逆コンパイル、リバース･エンジニアリング、逆アセンブルし、その他、人間の覚知可能な形態に変更することもできません。

(著作権等)

本ソフトウェアに関する著作権その他一切の知的財産権は、当社あるいはその関連会社に帰属します。本ソフトウェアは、著作権法及び国際条約の規定により保護されています。

(保証及び技術サポートの否認)

本ソフトウェア及びそれに付随する一切の資料等は、あくまで「現状のまま」提供されます。当社は、お客様や第三者に対して、これらの商品性、特定目的への適合性、他人の権利を侵害しないこと、その他一切の事項について保証せず、また、これらに対する技術サポートを行うこと等も保証しません。なお、国や地域によっては強行法規によってかかる保証の否認が認められないことがありますので、その場合には、かかる保証の否認は適用されないことがあります。また、お客様の権利は、国や地域によっても異なり得ます。

(責任制限)

当社、その他本ソフトウェアの供給者は、お客様が本ソフトウェア及びこれに付随する一切の資料を使用したこと又は使用できなかったことから生じる一切の損害 (利益の逸失、ビジネスの中断、情報の消失･毀損などによる損害を含みますが、これらに限定されません) に関しては、たとえ当社が、そのような損害が生じる可能性を知らされていた場合であったとしても、一切責任を負いません。国や地域によっては強行法規によって付随的又は間接損害に対する責任の制限が認められないことがありますので、その場合には、かかる責任制限は適用されないことがあります。なお、いかなる場合においても、本ソフトウェアに関する当社またはその子会社の責任は、お客様が当社またはその子会社に対して支払った金額を超えないものとします。かかる保証の否認や責任制限は、お客様と当社との間の取り決めにおける基本的な要素です。

(準拠法)

本契約は、日本国の法令に準拠し、これに基づいて解釈されるものとします。本契約は、本ソフトウェアの使用について、お客様と当社の取り決めのすべてを記載するものであり、本件に関する従前のあらゆる合意 (それが口頭でなされたか文書によりなされたかを問いません) に優先して適用されます。本契約に関連して紛争が生じた場合は、東京地方裁判所を第一審の専属管轄裁判所とします。

ドライバソフトウェアをインストールする

❖ ドライバソフトウェアをインストールする前に

- 「ソフトウェア使用許諾契約書」をよくお読みください。
- 本機の電源スイッチを切り、本機とコンピュータを接続している USB ケーブルを取り外してください。
- コンピュータ上で他に作業中のプログラムがあればすべて終了させてください。
- ドライバソフトウェアをインストール、アンインストールするには、コンピュータの管理者権限が必要です。コンピュータの管理者に設定されているユーザーでログオンしてからインストールしてください。
- ドライバソフトウェアをコンピュータにインストールしないで本機をコンピュータに接続すると、お客様の環境によってはコンピュータにエラーが発生することがあります。
- ドライバソフトウェアのインストールを途中で中止したときは、はじめからインストールをやり直してください。

対応 OS		
Windows® 7 Home Premium/ Professional/Ultimate	32 ビット版	○
	64 ビット版	○[1]
Windows Vista® Home Basic/ Home Premium/Business/Ultimate	32 ビット版	○
	64 ビット版	○[1]
Windows® XP Home Edition/ Professional (SP2 以降)	32 ビット版	○

[1] 64 ビット版 Windows をお使いのときは、ドライバソフトウェアは 32 ビットアプリケーションだけにお使いいただけます。

1 付属のドライバソフトウェア CD-ROM をコンピュータの CD ドライブに挿入する

2 CD-ROM のメニューが表示されたら、[Pioneer_DDJ_Driver_XXXXX.exe] をダブルクリックする

3 画面の指示に従ってインストールする

インストールの途中で [**Windows セキュリティ**] 画面が表示されることがありますが、[**このドライバソフトウェアをインストールします**] をクリックしてインストールを続行してください。

- Windows XP にインストールしているとき
  インストールの途中で [**ハードウェアのインストール**] 画面が表示されることがありますが、[**続行**] をクリックしてインストールを続行してください。
- インストールプログラムが終了すると終了メッセージが表示されます。

本機とコンピュータを接続する

1 本機とコンピュータを USB ケーブルで接続する

接続方法については、14ページ の「接続する」をご覧ください。

2 [ON/OFF] スイッチを [ON] 側にスライドする

本機の電源をオンにします。

- 本機をはじめてコンピュータに接続したとき、またはコンピュータの USB 端子をつなぎ変えたときに [**デバイスドライバソフトウェアをインストールしています。**] メッセージが表示されることがあります。[**デバイスを使用する準備ができました。**] メッセージが表示されるまでそのままお待ちください。

バッファサイズを調整する

本機は ASIO 規格に準拠したオーディオデバイスとしての機能を備えています。

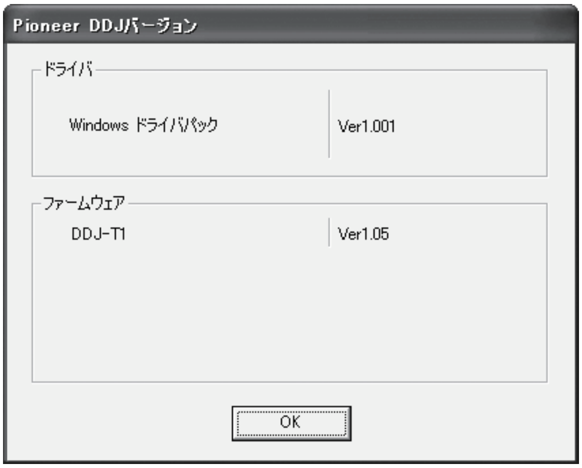
- 本機を既定のオーディオデバイスとして使っているアプリケーション (DJ ソフトウェアなど) が起動しているときは、そのアプリケーションを終了させてからバッファサイズを調整してください。

Windows の [スタート] メニュー >[すべてのプログラム]>[Pioneer]>[DDJ]>[DDJ ASIO 設定ユーティリティ] をクリックする

- バッファサイズを大きくすると、音声データの脱落 (音とぎれ) などが生じにくくなりますが、音声データの伝送遅延 (レイテンシー) によるタイムラグが増大します。
- カーネルバッファ数を大きくすると、音とぎれが生じにくくなりますが、レイテンシーによるタイムラグが増大します。
  カーネルバッファ数の初期設定値は [**3**] です。初期設定値で音とぎれが生じるときは、カーネルバッファ数を [**4**] に設定してください。通常お使いいただくときは、カーネルバッファ数を [**2**] にすることをお勧めします。

ドライバソフトウェアのバージョンを確認する

Windows の [スタート] メニュー >[すべてのプログラム]>[Pioneer]>[DDJ]>[DDJ バージョン表示ユーティリティ] をクリックする



- この画面では本機のファームウェアのバージョンも確認できます。
- 本機がコンピュータに接続されていないとき、または本機とコンピュータが正常に通信できていないときは、ファームウェアのバージョンは表示されません。

ドライバソフトウェアの最新情報を確認する

本機の専用ドライバソフトウェアの最新情報については、下記ホームページを参照してください。
http://www.prodjnet.com/support/

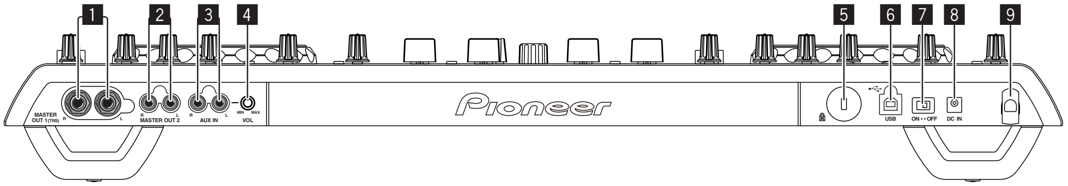
接続する

機器の接続を行う場合、あるいは変更を行う場合には、必ず電源を切り、AC アダプターをコンセントから抜いてください。
AC アダプターは、機器の接続がすべて終わってから接続してください。
AC アダプターは必ず本製品に付属のものをお使いください。
接続する機器の取扱説明書もあわせてご覧ください。
本機は AC アダプターまたは USB バスパワーで電源が供給されます。
AC アダプターを接続しなくても、USB ケーブルで本機とコンピュータを接続するだけで使用できます。

- 本機とコンピュータは付属の USB ケーブルで直接接続してください。
- USB ハブは使えません。
- USB バスパワーで使うときは、接続先のコンピュータには AC 電源をお使いください。
- 以下のような場合は、電源が不足して本機が USB バスパワーで動作しないことがあります。
  — コンピュータ本体の USB ポートの電源供給能力が不足している。
  — コンピュータに他の USB 機器を接続している。
  USB バスパワーで動作しないときは、付属の AC アダプターを接続してください。
- USB バスパワー動作時には、以下の制限があります。
  — ジョグダイヤルのインジケーターが点灯しない。
  — インジケーター（ジョグダイヤルを除く）が暗くなる。
  — [**AUX IN**] 端子および [**MIC**] 端子が使えない。
  — ヘッドホンの音量が小さくなる。
  制限なくお使いいただくには、付属の AC アダプターを接続してください。

各端子の名称

本体背面部



1 MASTER OUT 1 端子
パワードスピーカーなどを接続します。
TRS フォーンジャックのため、バランス出力、アンバランス出力に対応しています。
- アンバランス出力時にレベルを上げすぎると音声が歪みます。

2 MASTER OUT 2 端子
パワーアンプなどを接続します。

3 AUX IN 端子
外部機器 (サンプラーやポータブルオーディオ) の出力端子と接続します。
- USB バスパワー動作時は使えません。

4 VOL ツマミ
[**AUX IN**] 端子に入力される音声レベルを調整します。

5 ケンジントンロック装着用穴

6 USB 端子
コンピュータと接続します。
- 本機とコンピュータは付属の USB ケーブルで直接接続してください。
- USB ハブは使えません。

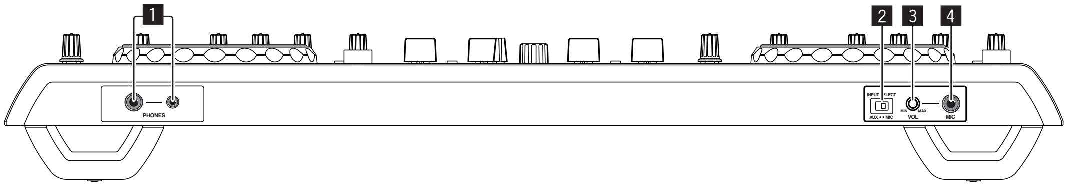
7 ON/OFF スイッチ
本機の電源をオン / オフします。

8 DC IN 端子
付属の AC アダプター (電源プラグを装着した状態) を使ってコンセントと接続します。
AC アダプターは、機器の接続がすべて終わってから接続してください。
必ず付属の AC アダプターをお使いください。

9 コードフック
AC アダプターの電源コードおよび USB ケーブルを引っ掛けて使います。詳しくは、15ページ の「コードフック」をご覧ください。
- 再生中にACアダプターやUSBケーブルが抜けると音声が途切れます。

注意
製品の仕様により、本体部やリモコン (付属の場合) のスイッチを操作することで表示部がすべて消えた状態となり、AC アダプターをコンセントから抜いた状態と変わらなく見える場合がありますが、電源の供給は停止していません。製品を電源から完全に遮断するためには、AC アダプター (遮断装置) をコンセントから抜く必要があります。製品はコンセントの近くで、AC アダプター (遮断装置) に簡単に手が届くように設置し、旅行などで長期間ご使用にならないときは AC アダプターをコンセントから抜いてください。火災の原因となることがあります。

本体前面部



1 PHONES 端子

ヘッドホンを接続します。

ステレオフォーンプラグ (Ø 6.3 mm) とステレオミニフォーンプラグ (Ø 3.5 mm) に対応しています。

- ステレオフォーンジャックとステレオミニフォーンジャックの両方にヘッドホンを同時に接続すると、音量が下がります。

2 AUX、MIC 切換スイッチ

音声の入力を外部機器またはマイクに切り換えます。

— [**AUX**]：[**AUX**] 端子に接続している外部機器を選びます。
— [**MIC**]：[**MIC**] 端子に接続しているマイクを選びます。

3 VOL ツマミ

[**MIC**] 端子に入力される音声レベルを調整します。

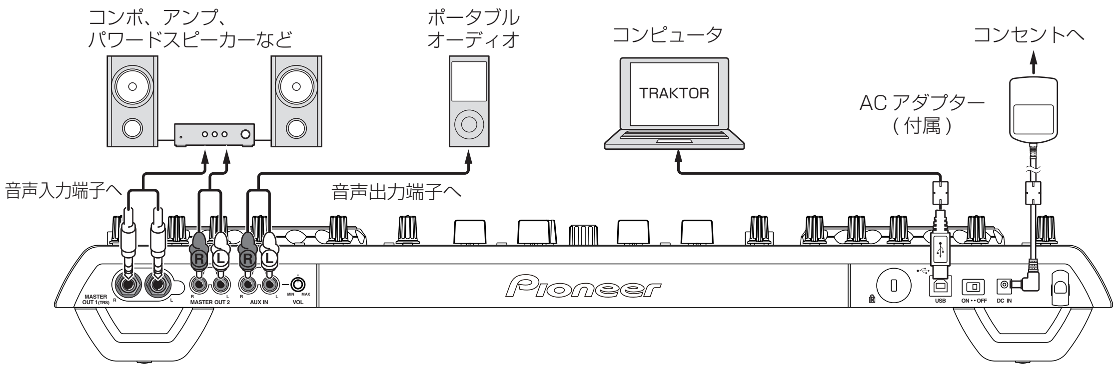
4 MIC 端子

マイクを接続します。

- USB バスパワー動作時は使えません。

入力 / 出力端子に接続する

本体背面部

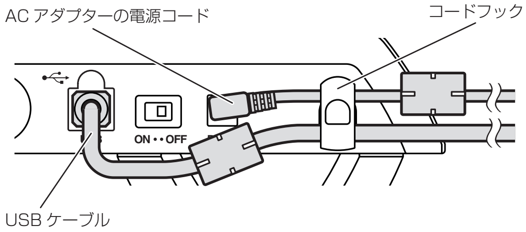


❖ コードフック

コードフックの上側に AC アダプターの電源コード、下側に USB ケーブルを引っ掛ける

AC アダプターの電源コードおよび USB ケーブルは、コードフックに引っ掛けることで固定されます。電源コードや USB ケーブルを誤って引っ張り、プラグが端子から抜けてしまうことを防げます。

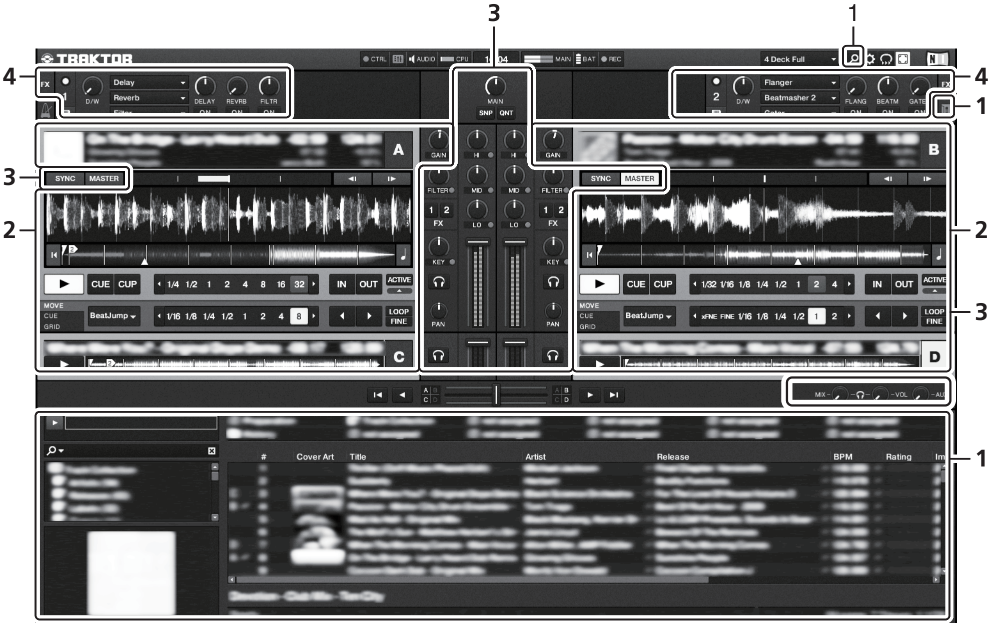
- 再生中にACアダプターやUSBケーブルが抜けると音声が途切れます。

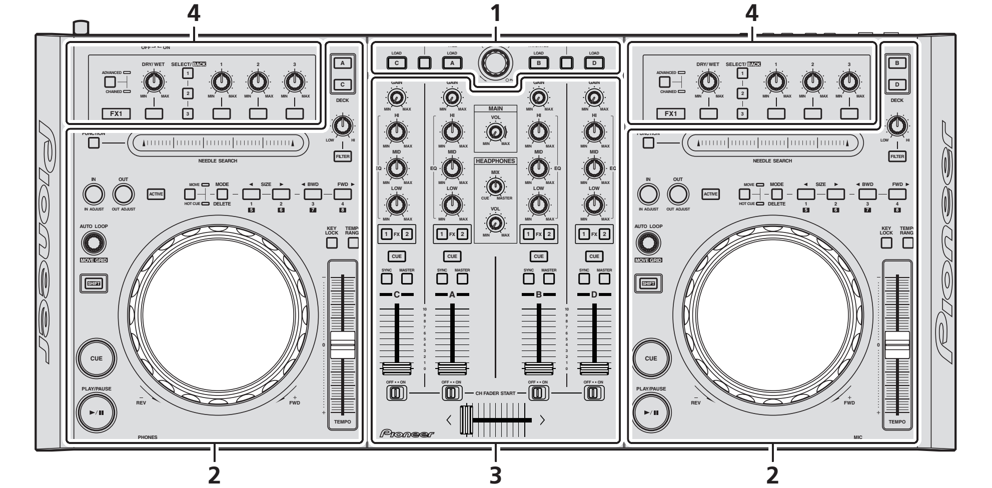


本体前面部

各部の名前とはたらき

コントロールパネル





1 ブラウザ (17ページ)

2 デッキ (18ページ)

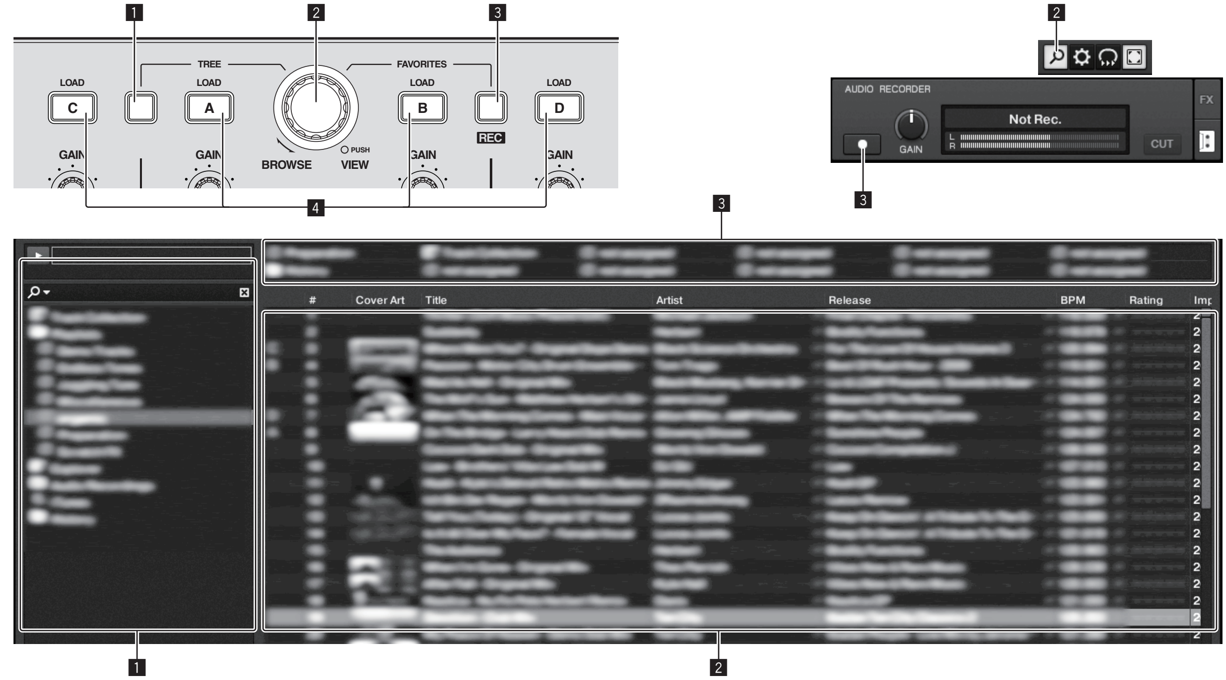
3 ミキサー (20ページ)

4 エフェクト (21ページ)

上記画面は表示例です。
お使いのコンピュータのモニター解像度によって画面表示内容が異なります。
画面表示内容は以下の方法で変更できます。

- をクリックする：全画面で表示する / 表示しないを切り換えます。
- デッキのトラック情報表示部 (曲名や BPM などが表示されている部分) をダブルクリックする：トラック情報表示部を展開 / 格納します。
- [**ACTIVE**] ボタンの下の [▲] をクリックする：アドバンスドパネルを展開 / 格納します。

1 ブラウザ



1 TREE ボタン

- [**TREE**] ボタンを押しながらロータリーセレクターを回す：[**TREE**] エリアのカーソルが移動します。
  上記画面の 1 部分を [**TREE**] エリアと呼びます。
- [**TREE**] ボタンを押しながらロータリーセレクターを押す：フォルダを展開 / 格納します。

2 ロータリーセレクター

- ロータリーセレクターを回す：[**TRACK**] エリアのカーソルが移動します。
  上記画面の 2 部分を [**TRACK**] エリアと呼びます。
- ロータリーセレクターを押す：[**BROWSE**] エリアの拡大表示をオン / オフします。
  [**TREE**] エリア、[**TRACK**] エリア、[**FAVORITES**] エリアの 3 つをあわせて [**BROWSE**] エリアと呼びます。

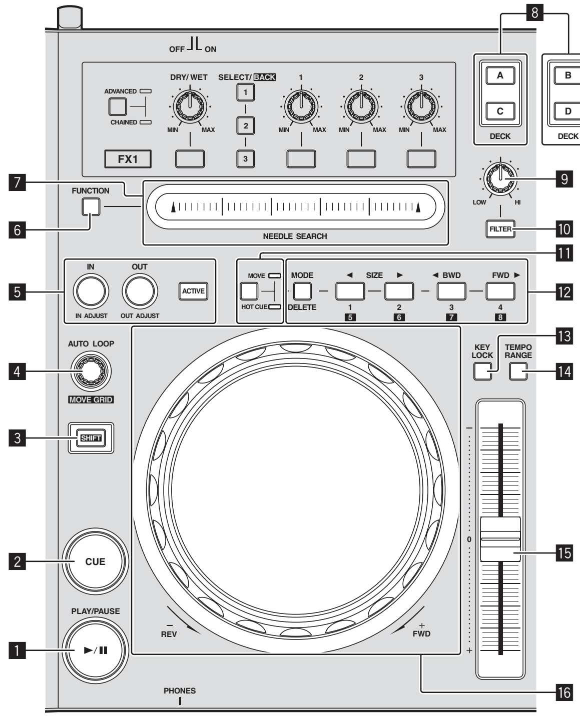
[**SHIFT**] ボタンを押しながらロータリーセレクターを回す：[**TRACK**] エリアのカーソルがページごとに移動します。

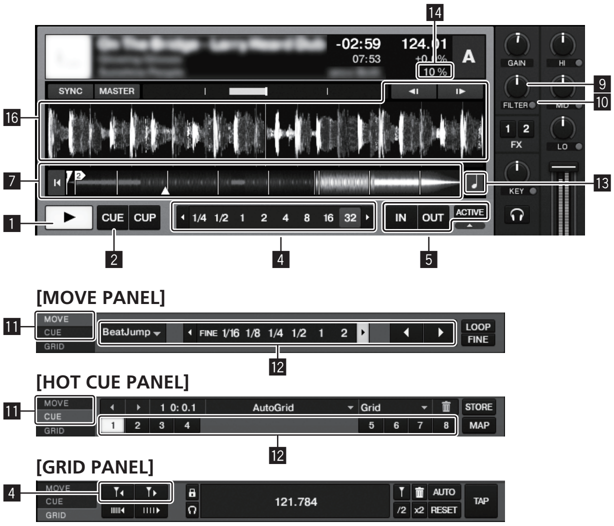
3 FAVORITES (REC) ボタン

- [**FAVORITES**（**REC**)] ボタンを押しながらロータリーセレクターを回す：[**FAVORITES**] エリアのカーソルが移動します。
  上記画面の 3 部分を [**FAVORITES**] エリアと呼びます。
- [**SHIFT**] ボタンを押しながら [**FAVORITES** (**REC**)] ボタンを押す：録音を開始 / 停止します。
  — [**AUDIO RECORDER**] パネルを表示するときは画面右上の [ ] アイコンをクリックします。
  — 録音の開始 / 停止は [**AUDIO RECORDER**] パネルを表示していない状態でも操作できます。
  — 録音したファイルを再生するときは [**TREE**] エリアの [**Audio Recordings**] を選びます。
  録音したファイルの保存先は [**Preferences**] の [**Mix Recorder**] で確認および変更できます。

4 LOAD ボタン

カーソルで選んでいるトラックを各デッキにロードします。





1 PLAY/PAUSE ►/II ボタン

トラックを再生 / 一時停止します。

2 CUE ボタン

一時停止中に [**CUE**] ボタンを押すと一時停止している位置にキューポイントが設定されます。

- TRAKTOR 2 の [**SNAP**] をオンにしているとき：キューポイントまたはループが一番近い [**Beat Grid**] に設定されます。
- TRAKTOR 2 の [**SNAP**] をオフにしているとき：キューポイントまたはループが任意の位置に設定されます。

再生中に [**CUE**] ボタンを押すと、設定されているキューポイントに戻り、頭出しされて一時停止状態になります (バックキュー)。

キューポイントに戻ったあとに [**CUE**] ボタンを押し続けると押し続けている間、再生を続けます。

3 SHIFT ボタン

[**SHIFT**] ボタンを押しながら他のボタンを押すと別の機能を呼び出せます。

4 AUTO LOOP (MOVE GRID) ツマミ

- [**AUTO LOOP** (**MOVE GRID**)] ツマミを回す：ループのサイズを変更します。
- [**AUTO LOOP** (**MOVE GRID**)] ツマミを押す：ループ再生のオン / オフを切り換えます。
- [**SHIFT**] ボタンを押しながら [**AUTO LOOP** (**MOVE GRID**)] ツマミを回す：[**Beat Grid**] を調整できます。
  解析結果とのズレを調整します。
  — [**Beat Grid**] を調整するときは、最低 1 つの [**BEAT MARKER**] を作成してください。
  — [**BEAT MARKER**] を作成するときは、ホットキューの [**CUE TYPE**] を [**Grid**] に設定してください。
  — [**CUE TYPE**] (ホットキューの種類) は、[🗑] アイコンの左の [▼] をクリックして変更できます。

5 IN (IN ADJUST) ボタン、OUT (OUT ADJUST) ボタン、ACTIVE ボタン

- **IN** (**IN ADJUST**) ボタン
  再生中にループ再生を始めたい位置 (ループインポイント) で [**IN** (**IN ADJUST**)] ボタンを押しループインポイントを設定します。
  ループインポイントは、ループ再生中に [**IN** (**IN ADJUST**)] ボタンを押し、ジョグダイヤルを使って微調整できます。
  — ループポイントの微調整中は [**IN** (**IN ADJUST**)] ボタンが速い点滅に変わり、[**OUT** (**OUT ADJUST**)] ボタンが消灯します。
  — 通常のループ再生に戻るときは [**IN** (**IN ADJUST**)] ボタンを押します。
  リアルタイムキュー：再生中に [**IN** (**IN ADJUST**)] ボタンを押すとボタンを押した位置にキューポイントが設定されます。
- **OUT** (**OUT ADJUST**) ボタン
  ループ再生を終わりたい位置 (ループアウトポイント) で [**OUT** (**OUT ADJUST**)] ボタンを押しループアウトポイントを設定します。
  ループアウトポイントが設定され、ループインポイントに戻ってループ再生を始めます。
  ループアウトポイントは、ループ再生中に [**OUT** (**OUT ADJUST**)] ボタンを押し、ジョグダイヤルを使って微調整できます。
  [**MOVE MODE**] を [**Loop Out**] に切り換えたあと、ジョグダイヤルを使ってループアウトポイントを微調整できます。
  — ループアウトポイントの微調整中は [**OUT** (**OUT ADJUST**)] ボタンが速い点滅に変わり、[**IN** (**IN ADJUST**)] ボタンが消灯します。
  — 通常のループ再生に戻るときは [**OUT** (**OUT ADJUST**)] ボタンを押します。
- **ACTIVE** ボタン
  ループ再生のオン / オフを切り換えます。

6 FUNCTION ボタン

[**NEEDLE SEARCH**] パッドの機能を切り換えます。

7 NEEDLE SEARCH パッド

- [**FUNCTION**] ボタンがオフのとき
  [**NEEDLE SEARCH**] 機能が使えます。
  — [**NEEDLE SEARCH**] パッドに触れた位置の音声を簡単に再生できます。
- [**FUNCTION**] ボタンがオンのとき
  お好みの機能をアサインできます。
  — お買い上げ時は何もアサインされていません。
  機能のアサイン方法は 25ページ の「TRAKTOR 2 の環境設定を変更する」をご覧ください。

8 DECK ボタン

操作するデッキを切り換えます。

- 本体左側デッキ：[**A**] デッキまたは [**C**] デッキ
- 本体右側デッキ：[**B**] デッキまたは [**D**] デッキ

9 フィルターツマミ
- フィルター機能がオンのとき、左に回す：ローパスフィルター。
- フィルター機能がオンのとき、右に回す：ハイパスフィルター。

10 FILTER ボタン
フィルター機能のオン / オフを切り換えます。

11 MOVE/HOT CUE 切換ボタン
アドバンスドパネル内の [**Move Panel**] と [**Cue Panel**] を切り換えます。
- アドバンスドパネルを開くときは、TRAKTOR 2 の [**ACTIVE**] の下にある [▼] をクリックします。

12 MOVE PANEL/HOT CUE PANEL
- **MOVE PANEL** 操作
  [**MODE DELETE**] ボタンを押すたびに [**MOVE MODE**]（ループの移動モード）を切り換えます。

  → [**Beat Jump**] → [**Loop**] → [**Loop In**] → [**Loop Out**] ─┐（先頭に戻る）

  — [**Beat Jump**]：再生位置が移動します。
  — [**Loop**]：ループが移動します。
  — [**Loop In**]：ループインポイントが移動します。
  — [**Loop Out**]：ループアウトポイントが移動します。
  [**SIZE ◀/▶**] ボタンを押して再生位置またはループの移動量を拍の倍率で設定します。
  [**◀ BWD/FWD ▶**] ボタンを押すと、[**SIZE ◀/▶**] ボタンで設定した移動量に従って再生位置またはループが移動します。
- **HOT CUE PANEL** 操作
  再生中または一時停止中に何も設定されていないボタンを押すと、ボタンを押した位置にホットキュー [**1**] ～ [**4**] を設定します。
  再生中または一時停止中にホットキュー [**1**] ～ [**4**] が設定されているボタンを押すと、ホットキュー [**1**] ～ [**4**] を呼び出します。
  ホットキュー [**1**] ～ [**4**] を削除するときは、[**DELETE**] ボタンを押しながら [**1**] ～ [**4**] ボタンを押します。
  [**DELETE**] ボタンを押している間、ホットキューが設定されている [**1**] ～ [**4**] ボタンが点滅します。
  — ホットキュー [**5**] ～ [**8**] を設定および呼び出すときは、[**SHIFT**] ボタンを押しながら [**1**] ～ [**4**] ボタンを押します。
  — ホットキュー [**5**] ～ [**8**] を削除するときは、[**SHIFT**] ボタンと [**DELETE**] を押しながら [**1**] ～ [**4**] ボタンを押します。
  — [**CUE TYPE**]（ホットキューの種類）は、[ ] アイコンの左の [▼] をクリックして変更できます。

13 KEY LOCK ボタン
キーロック機能のオン / オフを切り換えます。
キーロック機能がオンのとき、[**TEMPO**] スライダーで再生速度を変えても音程は変わりません。

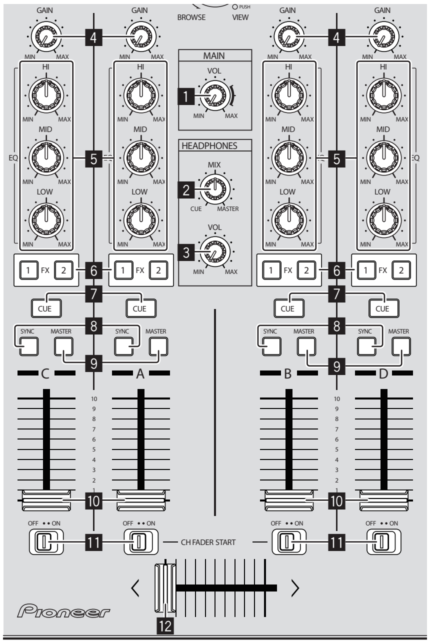
14 TEMPO RANGE ボタン
押すたびに [**TEMPO**] スライダーの可変範囲を切り換えます。

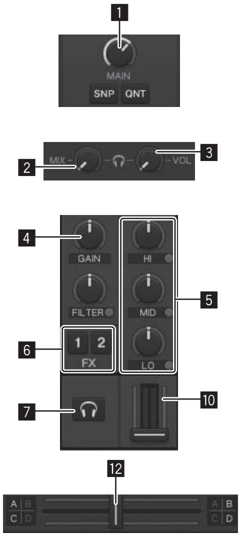
→ [**±6**] → [**±10**] → [**±16**] → [**±100**] ─┐（先頭に戻る）

15 TEMPO スライダー
- ＋（手前）側に動かす：再生速度が速くなります。
- −（奥）側に動かす：再生速度が遅くなります。

16 ジョグダイヤル
- スクラッチ
  ジョグダイヤルの天面を押しながら回す：回転方向と回転速度に応じて再生します。
- ピッチベンド
  再生中にジョグダイヤルの外周部分を回します。
  — 時計回りに回す：再生速度が加速します。
  — 反時計回りに回す：再生速度が減速します。
  — 回転を止める：通常の再生速度に戻ります。

3 ミキサー





1 MAIN VOL ツマミ

マスターから出力される音声レベルを調整します。

2 HEADPHONES MIX ツマミ

[**CUE**] ボタンが押してあるデッキの音声と [**MASTER OUT 1**, **MASTER OUT 2**] の音声のモニター音量バランスを調整します。

3 HEADPHONES VOL ツマミ

[**PHONES**] 端子から出力される音声レベルを調整します。

4 GAIN ツマミ

各デッキに入力される音声レベルを調整します。

5 EQ (HI、MID、LOW) ツマミ

各デッキの音質を調整します。
[**HI**] (高音域)、[**MID**] (中音域)、[**LOW**] (低音域) をそれぞれ調整します。

6 エフェクトアサインボタン

[**1**] ボタンまたは [**2**] ボタンを押して、TRAKTOR 2 のエフェクトユニット [**FX 1**] または [**FX 2**] をデッキにアサインします。

7 CUE ボタン

ヘッドホン [**CUE**] ボタンが押してあるデッキの音声をヘッドホンでモニターできます。
複数のヘッドホン [**CUE**] ボタンを押すと、ボタンが押してあるデッキの音声がミックスされてヘッドホンから出力されます。

8 SYNC ボタン

[**SYNC**] ボタンが押してあるデッキのトラックが、[**MASTER**] ボタンが押してあるデッキ、またはマスタークロックの [**BPM**] および [**Beat Grid**] に同期します。

9 MASTER ボタン

[**MASTER**] ボタンが押してあるデッキのテンポをビートシンク機能の同期用マスターにします。

10 チャンネルフェーダー

各デッキから出力される音声レベルを調整します。

11 CH FADER START スイッチ

[**CH FADER START**] 機能のオン / オフを切り換えます。
[**CH FADER START**] スイッチが [**ON**] のとき、チャンネルフェーダーの動きに合わせてフェーダースタート / バックキュー機能が使えます。

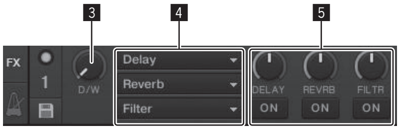
- フェーダースタート：キューポイントで一時停止しているとき、チャンネルフェーダーを一番手前の位置から奥に動かすと即座に再生を始めます。
- バックキュー：チャンネルフェーダーを奥に動かしている状態から一番手前の位置に戻すと、設定されているキューポイントに戻り頭出しされて即座に一時停止状態になります。

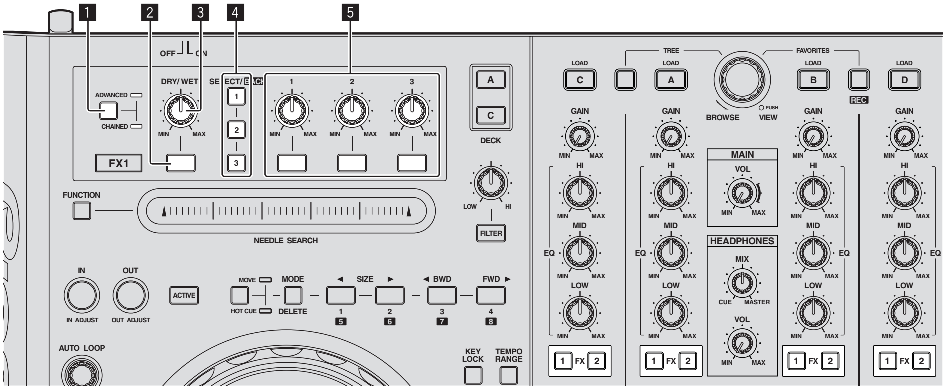
12 クロスフェーダー

クロスフェーダーの左右にアサインされているデッキの音声を切り換えて出力します。
デッキのアサインは、TRAKTOR 2 のクロスフェーダーの両隣にある [**Deck Assign Button**] で変更できます。

チャンネルフェーダーツマミおよびクロスフェーダーツマミは無理に引き抜かないでください。簡単に引き抜けない構造になっているため、ノブが壊れる可能性があります。

4 エフェクト





- 本機では、TRAKTOR 2 のエフェクトモードを次のように表示しています。
  — ［**Group**］モード：［**CHAINED**］
  — ［**Single**］モード：［**ADVANCED**］
- TRAKTOR Pioneer DDJ-T1 EDITION 2 では [**Single**] モードは選べません。
- TRAKTOR PRO 2 または TRAKTOR SCRATCH PRO 2 にアップグレードすると、エフェクトパネルを [**Single**] モードに切り換えられます。

1 ADVANCED/CHAINED 切換ボタン

- ［**Group**］モード：各エフェクトパネルに最大 3 つのエフェクトを選んで同時に操作できます。
- ［**Single**］モード：選択した 1 つのエフェクトのパラメーターを細かく操作できます。

2 エフェクトボタン

[**Single**] モード専用のボタンです。

3 DRY/WET ツマミ

エフェクト音と原音のバランスが変化します。

4 SELECT/BACK ボタン

ボタンを押すたびにエフェクトの種類が切り換わります。
TRAKTOR Pioneer DDJ-T1 EDITION 2 では以下の 6 種類のエフェクトが使えます。

→[no Effect]→[Delay]→[Reverb]→[Filter]→[Beatmasher2]→[Gater]→[Flanger]→

— [**SHIFT**] ボタンを押しながら [**SELECT/BACK**] ボタンを押すと、エフェクトの種類の切り換え方向が逆向きになります。
— [**Single**] モードのとき、[**SELECT/BACK**] の [**1**] ボタン押してエフェクトの種類を切り換えられます。

5 エフェクトコントロール

- エフェクトコントロールツマミ
  TRAKTOR 2 のエフェクトパネルのモードによって、連動する機能が異なります。
  — [**Group**] モード：各エフェクトのパラメーターを調整します。
  — [**Single**] モード：選んでいるエフェクトの各パラメーターを調整します。
- エフェクトコントロールボタン
  TRAKTOR 2 のエフェクトパネルのモードによって、連動する機能が異なります。
  — [**Group**] モード：各エフェクトのオン / オフを切り換えます。
  — [**Single**] モード：エフェクトコントロール [**1**] ボタンを押すと、すべてのエフェクト設定値を基本設定値に戻します。エフェクトコントロール [**2**] ボタンおよび [**3**] ボタンを押すと、各パラメーターのオン / オフを切り換えます。パラメーターの種類はエフェクトによって異なります。

操作する

TRAKTOR 2 にトラックをインポートする

この機能は DDJ-T1 ではなくコンピュータで操作します。

Explorer または Finder から、音楽ファイルまたは音楽ファイルが入ったフォルダを TRAKTOR 2 の [TREE] エリアの [Track Collection] にドラッグ & ドロップする

- [**Track Collection**] を右クリック（Mac OS X のときは [control] キーを押しながらクリック）してメニューから [**Import Music Folders**] を選ぶと、お使いのシステム内の [My Music] フォルダまたは [Music] フォルダにあるすべての音楽ファイルをインポートします。

プレイリストを作成する

この機能は DDJ-T1 ではなくコンピュータで操作します。

1 TRAKTOR 2 の [TREE] エリアの [Playlists] を右クリックする

- Mac OS X のときは [control] キーを押しながらクリックします。

2 メニューから [Create Playlist] を選ぶ

3 プレイリストの名前を入力して [OK] をクリックする

作成したプレイリストが [**Playlists**] に表示されます。

4 作成したプレイリストに音楽ファイルをドラッグ & ドロップして登録する

FAVORITES を作成する

この機能は DDJ-T1 ではなくコンピュータで操作します。

空の [FAVORITES] スロットにプレイリストフォルダをドラッグ& ドロップする

デッキにトラックをロードする

1 [TREE] ボタンを押しながらロータリーセレクターを回す

プレイリストまたはフォルダを選びます。

- [**FAVORITES**] の中から選ぶときは、[**FAVORITES**] ボタンを押しながらロータリーセレクターを回します。
- [**TREE**] ボタンを押しながら、[+] マークが付いている項目でロータリーセレクターを押すと、フォルダを展開 / 格納します。

2 [TREE] ボタンまたは [FAVORITES] ボタンから手を放してロータリーセレクターを回す

トラックを選びます。

- [**SHIFT**] ボタンを押しながらロータリーセレクターを回すと、カーソルがページごとにジャンプします。

3 ロードしたいデッキの [LOAD] ボタンを押す

選んでいるトラックをそれぞれのデッキにロードします。

iTunes の音楽ファイルを再生する

iTunes で音楽ファイルを管理している場合、TRAKTOR 2 のブラウザで iTunes のライブラリとプレイリストに直接アクセスできます。

1 [TREE] ボタンを押しながらロータリーセレクターを回し、iTunes を選ぶ

2 iTunes と同じようにライブラリとプレイリストをブラウズする

- TRAKTOR 2 のブラウザでは、iTunes ライブラリとプレイリストは編集できません。
- TRAKTOR 2 のブラウザから再生すると、iTunes の音楽ファイルは TRAKTOR 2 の [**Track Collection**] に自動でインポートされます。

ブラウズ表示のエリアを拡大する

ロータリーセレクターを押す

[ ] が [ ] に変わり、ブラウズ表示のエリアが拡大します。

- 元の表示に戻すには、もう一度ロータリーセレクターを押します。

再生する

[PLAY/PAUSE ►/II] ボタンを押す

一時停止する

再生中に [PLAY/PAUSE ►/II] ボタンを押す

再生速度を手動で調整する（テンポコントロール）

[TEMPO] スライダーを前後に動かす

スライダーを [**+**]（手前）側に動かすと再生速度が速くなり、[**–**]（奥）側に動かすと再生速度が遅くなります。

再生速度を変化させている割合が再生速度表示に表示されます。

再生速度の調整範囲を選ぶ

[TEMPO RANGE] ボタンを押す

押すたびに [**TEMPO**] スライダーの可変範囲が切り換わります。

可変範囲の設定値が再生速度可変範囲表示に表示されます。

- 再生速度を自動で調整することもできます（23ページ の「再生速度を他のデッキに同期させる（ビートシンク）」）。

音程を変えずに再生速度を調整する（キーロック）

[KEY LOCK] ボタンを押す

[**KEY LOCK**] インジケーターと [ ] が点灯します。

キーロック中に再生速度を変えても音程は変わりません。

キューを設定する

1 再生中に [PLAY/PAUSE ►/II] ボタンを押す

再生を一時停止します。

2 [CUE] ボタンを押す

一時停止した位置にキューポイント [▲] が設定されます。

[**PLAY/PAUSE ►/II**] インジケーターが点滅し、[**CUE**] インジケーターが点灯します。

このとき音声は出力されません。

- 新しいキューポイントを設定すると、以前に設定したキューポイントは解除されます。
- キューポイントの設定については 19ページ の「**MOVE PANEL/HOT CUE PANEL**」をご覧ください。

キューポイントの位置を修正する

1 ジョグダイヤルの天面を押しながら回す
一時停止位置を調整します。

2 [CUE] ボタンを押す
ボタンを押した位置に一番近い [**Beat Grid**] にキューポイント [▲] が設定されます。

キューポイントに戻る (バックキュー)

再生中に [CUE] ボタンを押す
設定されているキューポイントに瞬時に戻り、頭出しされて一時停止状態になります。
- [**PLAY/PAUSE ►/II**] ボタンを押すと、キューポイントから再生が始まります。

キューポイントを確認する (キューポイントサンプラー)

キューポイントに戻ったあとに [CUE] ボタンを押し続ける
設定されているキューポイントから再生が始まります。
[**CUE**] ボタンを押し続けている間、再生を続けます。

再生しながらキューポイントを設定する (リアルタイムキュー)

再生中にキューポイントに設定したい位置で [IN (IN ADJUST)] ボタンを押す
ボタンを押した位置に一番近い [**Beat Grid**] にキューポイント [▲] が設定されます。

ミキサー機能を使う

音声を出力する

[**MASTER OUT 1**, **MASTER OUT 2**] 端子に接続しているパワーアンプのボリュームを適切に設定してください。ボリュームを上げすぎると大音量で音声が出力されますのでご注意ください。

1 [GAIN] ツマミを回す
各デッキに入力される音声レベルを調整します。

2 チャンネルフェーダーを奥側に動かす
各デッキから出力される音声レベルを調整します。

3 クロスフェーダーを動かす
スピーカーから音声を出力するデッキを切り換えます。
- — 左端 : [**A**] デッキまたは [**C**] デッキの音声を出力します。
- — センター位置 : すべてのデッキの音声をミックスして出力します。
- — 右端 : [**B**] デッキまたは [**D**] デッキの音声を出力します。
- デッキのアサインは、TRAKTOR 2 のクロスフェーダーの両隣にある [**Deck Assign Button**] で変更できます。

4 [MAIN VOL] ツマミを回す
[**MASTER1**] 端子および [**MASTER2**] 端子から音声が出力されます。

音質を調整する

各デッキの [EQ (HI, MID, LOW)] ツマミを回す

ヘッドホンで音声をモニターする

1 [PHONES] 端子にヘッドホンを接続する

2 モニターしたいデッキのヘッドホン [CUE] ボタンを押す

3 [HEADPHONES MIX] ツマミを回す
- — 左に回す : ヘッドホン [**CUE**] ボタンが押してあるデッキの音量が相対的に大きくなります。
- — センター位置 : ヘッドホン [**CUE**] ボタンが押してあるデッキの音声と [**MASTER OUT 1**, **MASTER2**] の音声が同じ音量になります。
- — 右に回す : [**MASTER OUT 1**, **MASTER2**] の音量が相対的に大きくなります。

4 [HEADPHONES VOL] ツマミを回す
ヘッドホン [**CUE**] ボタンが押してあるデッキの音声がヘッドホンから出力されます。
- ヘッドホン [**CUE**] ボタンを再び押すと、モニターが解除されます。

エフェクト機能を使う

TRAKTOR 2 は 2 つのエフェクトユニット ([**FX 1**] および [**FX 2**]) を搭載しています。
それぞれのエフェクトユニットは、1 つ以上のデッキにアサインできます。
- TRAKTOR PRO 2 および TRAKTOR SCRATCH PRO 2 は、4 つのエフェクトユニットを搭載しています。

エフェクトを加える ([Group] モード)

1 エフェクトアサインボタンを押す
[**1**] ボタンまたは [**2**] ボタンを押して、TRAKTOR 2 のエフェクトユニット [**FX 1**] または [**FX 2**] をデッキにアサインします。

2 エフェクトコントロールツマミを回す
各エフェクトのエフェクト音と原音のバランスを調整します。

3 エフェクトコントロールボタンを押す
加えたいエフェクトのエフェクトコントロールボタンを押します。
- 同じボタンをふたたび押すと、エフェクトがオフになります。
- エフェクトユニットの 3 つのエフェクトを同時にオンにすることもできます。

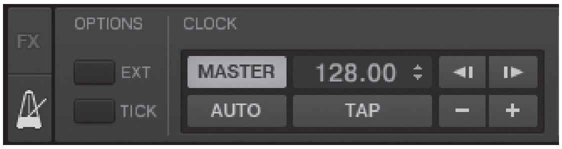
4 [DRY/WET] ツマミを回す
すべてのエフェクトを合わせたエフェクト音と原音のバランスを調整します。

再生速度を他のデッキに同期させる (ビートシンク)

1 再生中のデッキの [MASTER] ボタンを押す
[**MASTER**] ボタンを押したデッキを同期用マスターとします。
[**MASTER**] インジケーターと TRAKTOR 2 の [**MASTER**] が点灯します。

2 同期用マスターに設定されていないデッキの [SYNC] ボタンを押す
同期用マスターに設定されているデッキのトラックの [**BPM**] および [**Beat Grid**] に同期します。
[**SYNC**] インジケーターと TRAKTOR 2 の [**SYNC**] が点灯します。
- 同期用マスターの設定については、24ページ の「同期用マスターを設定する」をご覧ください。
- 以下の場合は [**SYNC**] 機能が正常に動作しないことがあります。
  - — ループの長さが 1 ビートより小さい。
  - — トラックが解析されていない。

同期用マスターを設定する



[ ] をクリックする

同期用マスターは以下の 2 種類から選んで設定できます。

— [**MASTER**]：ユーザーが入力した BPM 値またはタッピングによる BPM 値をマスターに設定します。
— [**AUTO**]：自動でマスターを設定します。再生中の 2 つのデッキのうち、マスターに設定されているデッキを一時停止すると、もう一方のデッキが自動的にマスターに設定されます。

外部機器またはマイクの音声を入力する

[**AUX IN**] 端子に接続した外部機器または [**MIC**] 端子に接続したマイクの音声をミックスできます。

- USB バスパワー動作時は [**AUX IN**] 端子および [**MIC**] 端子は使えません。
  制限なくお使いいただくには、付属の AC アダプターを使ってコンセントと接続してください。

1 [AUX IN] 端子または [MIC] 端子に外部機器を接続する

2 [AUX, MIC] 切換スイッチを切り換える

— [**AUX**]：[**AUX IN**] 端子に接続している外部機器を選びます。
— [**MIC**]：[**MIC**] 端子に接続しているマイクを選びます。

3 TRAKTOR 2 ソフトウェアの [Preferences] > [Input Routing] を設定する

[**Input Aux**] を以下のように設定します。

— [**L(Mono)**]：**1:DDJ-T1 AUX/MIC L**
— [**R**]：**2:DDJ-T1 AUX/MIC R**

- TRAKTOR Pioneer DDJ-T1 EDITION 2 では上記のように初期設定されています。

4 [AUX IN] 端子または [MIC] 端子に入力される音声レベルを調整する

— 本体前面部の [**VOL**] ツマミを回す：[**MIC**] 端子の入力音声レベルを調整します。
— 本体背面部の [**VOL**] ツマミを回す：[**AUX IN**] 端子の入力音声レベルを調整します。
  パイオニア製 DJ プレーヤー：センター位置付近に設定してください。
  ポータブルオーディオなど音量の小さい機器：センター位置より右に設定してください。

5 TRAKTOR 2 ソフトウェアの [AUX] ノブを回す

クロスフェーダー右の [**AUX**] ノブを回して適切な音量レベルに設定してください。

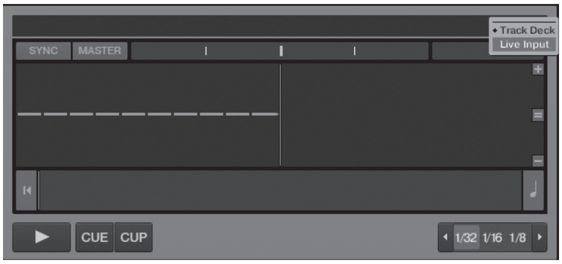
外部機器またはマイクの音声をデッキにアサインする

外部機器やマイクの音声入力先を [**A**] デッキ～ [**D**] デッキに設定すると、エフェクト機能、フィルター機能、EQ ツマミを使えます。

- 以下では、外部機器やマイクの音声を [**D**] デッキにアサインするときの操作手順について説明しています。

1 [D] デッキの [▼] をクリックする

メニューから [**Line Input**] を選びます。



2 TRAKTOR 2 ソフトウェアの [Preferences] > [Input Routing] を設定する

[**Input Deck D**] を以下のように設定します。

— [**L(Mono)**]：**1:DDJ-T1 AUX/MIC L**
— [**R**]：**2:DDJ-T1 AUX/MIC R**

- デッキを元に戻すときは [▼] をクリックして [**Track Deck**] を選びます。

TRAKTOR 2 の環境設定を変更する

お使いのハードウェアの使用状況に合わせて TRAKTOR 2 の環境設定を変更します。
TRAKTOR 2 の環境設定について詳しくは TRAKTOR 2 マニュアルをご覧ください。

- 環境設定の変更内容を初期設定値に戻すときは、以下のウェブサイトでご確認ください。
  http://www.prodjnet.com/support/

1 TRAKTOR 2の[(Preferences Button)] をクリックする

TRAKTOR 2 の設定メニューを開きます。

2 カテゴリーを選んで設定する

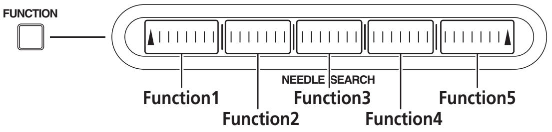
TRAKTOR Pioneer DDJ-T1 EDITION 2 設定項目一覧

カテゴリー	説明
Audio Setup	音声入出力に使うオーディオ機器を選びます。サンプリングレートおよびレーテンシーを設定します。
Output Routing	[**Internal**]：TRAKTOR 2 の内部ミキサーを使います。 本機だけで使うときは、[**Internal**] を選んでください。 [**External**]：外部ミキサーを使います。 マスター音声出力端子およびモニター音声出力端子を設定します。
Input Routing	外部機器 (ポータブルオーディオやマイクなど) からの音声入力をデッキに設定します。
Loading	デッキにトラックをロードするときの条件や機能を設定します。
Transport	テンポ機能やキーロック機能を設定します。
Decks	トラックデッキの波形画面の色などを設定します。
Mixer	オートゲイン、マスターリミッターなどを設定します。
Global Settings	グローバルセクションなどの TRAKTOR 2 の画面表示を設定します。
Effects	エフェクトを選ぶときに表示されるエフェクトの種類を設定します。
Mix Recorder	TRAKTOR 2 のマスター音声出力または外部音声入力どちらを録音するか設定します。録音した音声ファイルの保存先などを設定します。
Browser Details	プレビュープレーヤーやカバーアートの表示 / 非表示を設定します。
File Management	トラックのインポート、自動分析および分析の BPM 範囲などを設定します。 音楽ファイルや iTunes ライブラリファイルなどのデータへのパスを設定します。
Controller Manager	TRAKTOR 2 の機能をコントローラーやキーボードにアサインします。
Traktor Kontrol X1	Native Instruments 社製の Traktor Kontrol X1 を使うとき設定します。

[NEEDLE SEARCH] パッドにお好みの機能をアサインする

[**NEEDLE SEARCH**] パッドにお好みの機能をアサインして使うときは、あらかじめ [**FUNCTION**] ボタンを押して [**FUNCTION**] をオンにしてください。

- [**NEEDLE SEARCH**] パッドには最大 5 箇所に機能をアサインできます。



1 TRAKTOR 2の[(Preferences Button)] をクリックする

TRAKTOR 2 の設定メニューを開きます。

2 [Controller Manager] をクリックする

3 [Device Setup] の [Device] をクリックする

プルダウンメニューから [**Pioneer. DDJ-T1**] を選びます。

4 [Assignment Table] の [Add In...] をクリックする

プルダウンメニューからアサインしたい機能を選びます。

5 [Device Mapping] の [Learn] をクリックする

[**Learn**] をオンにします。

6 [NEEDLE SEARCH] パッドに触れる

機能をアサインしたい場所に触れます。
[**Device Mapping**] の [**Learn**] の右の欄に触れた場所の名前が表示されます。

- [**Device Mapping**] の [**Learn**] の右の欄をクリックして、機能をアサインする場所を選ぶこともできます。

7 ふたたび [Learn] をクリックする

[**Learn**] をオフにします。

8 画面右下の [Close] を押す

TRAKTOR 2 の設定メニューを閉じます。

[NEEDLE SEARCH] パッドにアサインした機能を詳細設定する

❖ [Mapping Details] を設定する

— [**Modifier Conditions**]：[**Add In...**] で選んだ機能の動作条件を設定します。
動作条件は [**Value**] の値によって切り換わります。
— [**Type of Controller**]：[**Button**]、[**Fader/Knob**]、[**Encoder**] などを選びます。
[**Function 1**] ～ [**Function 5**] にアサインしたときは [**Button**] に設定されます。
— [**Interaction Mode**]：TRAKTOR 2 の機能とコントローラーの連動方法を設定します。
— [**Hold**]：ボタンを押している間、機能が動作します。
— [**Toggle**]：ボタンを押すたびに、機能の性質が切り換わります。

❖ [Button Options] を設定する

[**Type of Controller**] と [**Interaction Mode**] の設定内容に応じて、さらに詳細に設定できます。
例えば、[**Type of Controller**] が [**Button**]、[**Interaction Mode**] が [**Hold**] のとき、[**Invert**] 設定が可能になります。

その他

故障かな？と思ったら

- 故障かな？と思ったら、下記の項目を確認してください。また、本機と接続している機器もあわせて確認してください。それでも正常に動作しないときは、31ページ の「保証とアフターサービス」をお読みのうえ、販売店にお問い合わせください。
- 静電気など、外部からの影響により本機が正常に動作しないことがあります。このようなときは、電源をオフにしてから 1 分後に再度電源をオンにすることで正常に動作することがあります。

こんなときは	ここを確認してください	対応の仕方
電源が入らない。 すべてのインジケーターが点灯しない。	電源の [**ON/OFF**] スイッチは [**ON**] になっていますか？	電源の [**ON/OFF**] スイッチを [**ON**] にしてください。
ジョグダイヤルのインジケーターが点灯しない。 インジケーター（ジョグダイヤルを除く）が暗い。 [**AUX IN**] 端子および [**MIC**] 端子が使えない。 ヘッドホンの音量が小さい。	USB バスパワーで動作していませんか？	付属の AC アダプターを接続してください。（15ページ）
		USB バスパワー動作時の制限です。 制限なくお使いいただくには、付属の AC アダプターを接続してください。
本機が認識されない。	電源の [**ON/OFF**] スイッチは [**ON**] になっていますか？	電源の [**ON/OFF**] スイッチを [**ON**] にしてください。
	付属のUSBケーブルが正しく接続されていますか？	付属の USB ケーブルを正しく接続してください。（15ページ）
	TRAKTOR 2 の [**CTRL**] は点灯していますか？	本機のボタンのいずれかを押して、TRAKTOR 2 の [**CTRL**] が点灯することを確認してください。
	−	[**Preferences**] ＞ [**Controller Manager**] ＞ [**Device Setup**] ＞ [**Device**] で [**Pioneer. DDJ-T1**] を選んでいるか確認してください。（25ページ）
付属の AC アダプターを使用しても、USB バスパワーで動作する。	付属の AC アダプターが正しく接続されていますか？	付属の AC アダプターに電源プラグを正しく取り付けてください。（6ページ）
		付属の AC アダプターをコンセントに正しく接続してください。（15ページ）
		付属の AC アダプターの DC プラグを本機に正しく接続してください。（15ページ）
USB バスパワーで電源が入らない。	付属のUSBケーブルが正しく接続されていますか？	コンピュータと本機を付属の USB ケーブルで直接接続してください。USB ハブは使えません。（15ページ）
	コンピュータの USB バスパワー供給能力が足りない可能性があります。	付属の AC アダプターをお使いください。
	USB ハブを使っていませんか？	USB ハブは使えません。コンピュータと本機を付属の USB ケーブルで直接接続してください。（15ページ）
	市販の USB ケーブルを使っていませんか？	付属の USB ケーブルをお使いください。
本機と TRAKTOR 2 のツマミやスライダーの位置が異なる。	−	本機のツマミやスライダーを動かすと、TRAKTOR 2 のツマミやスライダーが同期します。
音楽ファイルを再生できない。	音楽ファイルが壊れていませんか？	壊れていない音楽ファイルを再生してください。
[**TRACK**] エリアにトラックが表示されない。	音楽ファイルが正しくインポートされていますか？	音楽ファイルをインポートしてください。（22ページ）
	トラックが入っていない [**Playlists**] または [**FAVORITES**] を選んでいませんか？	トラックが入っている [**Playlists**] または [**FAVORITES**] を選んでください。
録音ファイルが見つからない。	正しく録音されていますか？	[**Preferences**] ＞ [**Mix Recorder**] で設定内容を確認してください。
		[**TREE**] ボタンを押しながらロータリーセレクターを回して、[**Audio Recordings**] を選んでください。（17ページ）
[**AUX IN**] 端子に接続した機器の音量が小さい。	[**AUX IN**] 端子の [**VOL**] ツマミの位置が正しく設定されていますか？	接続する機器に合わせて音声レベルを適切に設定してください。（24ページ）
音が歪む。	[**MAIN VOL**] ツマミ、[**GAIN**] ツマミが正しい位置に設定されていますか？	TRAKTOR 2 の [**MAIN**] レベルインジケーターを見て、[**MAIN VOL**] ツマミ、[**GAIN**] ツマミを調整してください。
	[**AUX IN**] 端子、[**MIC**] 端子に入力される音声レベルは適切に設定されていますか？	接続する機器に合わせて各端子に入力される音声レベルを適切に設定してください。
	[**MASTER OUT 1**] 端子をモノラルケーブルでアンバランス出力にしていませんか？	アンバランス出力時は、出力を適切なレベルにしないと音が歪みます。[**MAIN VOL**] ツマミで出力を適切なレベルに設定してください。
再生中の音声がとぎれる。	付属の AC アダプター、付属の USB ケーブルが正しく接続されていますか？	再生中に付属の AC アダプターの電源コード、付属の USB ケーブルが本体から抜けると音声が途切れます。 付属の AC アダプターの電源コードおよび付属の USB ケーブルを、本体のコードフックに正しく固定してください。（15ページ）
	ドライバソフトウェアのレイテンシーの値は適切ですか？	ドライバソフトウェアのレイテンシーの値を適切に設定してください。（12ページ）
外部機器またはマイクの音声を出力できない。	[**Line Input**] の設定になっていますか？	出力したいデッキで [**Line Input**] の設定にしてください。（24ページ）

こんなときは	ここを確認してください	対応の仕方
音が出ない。	接続ケーブルが正しく接続されていますか？	接続ケーブルを正しく接続してください。（15ページ）
	付属のUSBケーブルが正しく接続されていますか？	コンピュータと本機を付属のUSBケーブルで直接接続してください。USBハブは使えません。（15ページ）
	端子やプラグが汚れていませんか？	端子やプラグの汚れを拭き取ってから接続してください。
	ドライバソフトウェアは正しく設定されていますか？	ドライバソフトウェアを正しく設定してください。（12ページ）
	TRAKTOR 2 の [**Audio Setup**]、[**Output Routing**]、および [**Input Routing**] は正しく設定されていますか？	[**Preferences**] が以下のように設定されているか確認してください。 [**Audio Setup**] > [**Audio Device**] > [**PIONEER DDJ-T1**] (Mac OS X) または [**Pioneer DDJ ASIO**] (Windows) [**Output Routing**] > [**Output Monitor**] [**L**] > [**3:DDJ-T1 PHONES L**] および [**R**] > [**4:DDJ-T1 PHONES R**] [**Output Routing**] > [**Output Master**] [**L**] > [**1:DDJ-T1 MASTER L**] および [**R**] > [**2:DDJ-T1 MASTER R**] [**Input Routing**] > [**Input Channel D**] [**L(Mono)**] > [**1:DDJ-T1 AUX/MIC L**] および [**R**] > [**2:DDJ-T1 AUX/MIC R**]
		外部機器の音声が入力されるように正しく設定してください。（24ページ）
	接続しているコンポやアンプは正しく設定されていますか？	コンポやアンプの外部入力の切り換えや音量を正しく設定してください。
BPM または波形全体が表示されない。	音楽ファイルが解析されていますか？	[**Preferences**] > [**File Management**] > [**Analyze new tracks when loading into deck**] にチェックを入れ、再度トラックをデッキにロードしてください。
[**SYNC**] 機能が働かない。	音楽ファイルが正しくインポートされていますか？	音楽ファイルをインポートし直し、デッキにロードしてください。（22ページ）
	音楽ファイルが解析されていますか？	音楽ファイルを自動で解析できないときは、[**Beat Grid**] を手動で入力してください。
曲を解析しても [**SYNC**] が働かない。	ホットキューに [**BEAT MARKER** (**Grid**)] が設定されていますか？	最低 1 つの [**BEAT MARKER**] を [**Grid**] に設定してください。（18ページ）
		[**Preferences**] > [**File Management**] > [**Set Beat-Grid when detecting BPM**] にチェックを入れ、再度トラックをデッキにロードしてください。
フェーダースタートできない。	[**CH FADER START**] スイッチが [**ON**] になっていますか？	[**CH FADER START**] スイッチを [**ON**] に設定してください。
	キューを設定した位置で待機状態になっていますか？	もう一度キューを設定するか、キューを設定した位置で待機状態にしてください。（22ページ）
デッキエリアの表示が小さい。	―	デッキエリアのトラック情報表示部（曲名やBPMなどが表示されている部分）をダブルクリックしてください。
[**ADVANCED**/**CHAINED**] 切換ボタンが効かない。	―	TRAKTOR Pioneer DDJ-T1 EDITION 2では [**Single**] モードは選べません。TRAKTOR PRO 2 または TRAKTOR SCRATCH PRO 2 にアップグレードすると、エフェクトパネルを [**Single**] モードに切り換えられます。
ASIO ドライバを設定すると音が途切れる	TRAKTOR 2 を起動したまま ASIO ドライバを設定していませんか？	ASIO ドライバは TRAKTOR 2 を起動する前に設定してください。（12ページ）
バックキュー機能が働かない。	キューポイントが設定されていますか？	キューポイントを設定してください。（22ページ）
ループプレイ機能が働かない。	ループポイントが設定されていますか？	ループポイントを設定してください。（22ページ）

他の DJ ソフトウェアのコントローラーとして使用する

本機はボタンやツマミなどの操作情報を汎用の MIDI 形式でも出力します。MIDI 対応の DJ ソフトウェアをインストールしたコンピュータと USB ケーブルを使って接続すると、本機で DJ ソフトウェアを操作できます。また、コンピュータで再生している音楽ファイルの音声を本機から出力できます。
他の DJ ソフトウェアのコントローラーとして使用するときは、あらかじめ DJ ソフトウェアのオーディオおよび MIDI に関する設定も行ってください。
詳しくはお使いの DJ ソフトウェアの取扱説明書をご覧ください。

MIDI メッセージ一覧

本機では、ブラウザ部、デッキ部、ミキサー部、エフェクト部が以下の MIDI チャンネルで接続されます。

	MIDI チャンネル	MIDI ch. Value
A デッキ	1	**n=0**
B デッキ	2	**n=1**
C デッキ	3	**n=2**
D デッキ	4	**n=3**
エフェクト **1**	5	**n=4**
エフェクト **2**	6	**n=5**
ブラウザ、ミキサー	7	**n=6**

1 ブラウザ

SW 名	MIDI メッセージ (本機→コンピュータ)			備考
TREE ボタン	96	66	dd	OFF=0, ON=127
ロータリーセレクター (回す)	B6	64	dd	前回操作からの差分カウント値 • 右回転：1 ～ (最大) 30 • 左回転：127 ～ (最小) 98
ロータリーセレクター (押す)	96	65	dd	OFF=0, ON=127
FAVORITES (**REC**) ボタン	96	67	dd	OFF=0, ON=127
LOAD A ボタン	96	70	dd	OFF=0, ON=127
LOAD B ボタン	96	71	dd	OFF=0, ON=127
LOAD C ボタン	96	72	dd	OFF=0, ON=127
LOAD D ボタン	96	73	dd	OFF=0, ON=127

2 デッキ

SW 名	MIDI メッセージ (本機→コンピュータ)						備考
	SHIFT ボタン OFF 時			SHIFT ボタン ON 時			
PLAY/PAUSE ►/II ボタン	9n	11	dd	9n	71	dd	OFF=0, ON=127
CUE ボタン	9n	12	dd	9n	72	dd	OFF=0, ON=127
AUTO LOOP (**MOVE GRID**) ツマミ (回す)	Bn	19	dd	Bn	79	dd	前回操作からの差分カウント値 • 右回転：1 ～ (最大) 30 • 左回転：127 ～ (最小) 98
AUTO LOOP (**MOVE GRID**) ツマミ (押す)	9n	20	dd	9n	80	dd	OFF=0, ON=127
IN (**IN ADJUST**) ボタン	9n	16	dd	9n	76	dd	OFF=0, ON=127
OUT (**OUT ADJUST**) ボタン	9n	17	dd	9n	77	dd	OFF=0, ON=127
ACTIVE ボタン	9n	18	dd	9n	78	dd	OFF=0, ON=127
FUNCTION ボタン	9n	58	dd	9n	107	dd	OFF=0, ON=127
NEEDLE SEARCH パッド	Bn	3	dd	Bn	8	dd	OFF=0、ON=1 ～ 127 (位置情報) 左端で 1、右端で 27
フィルターツマミ	Bn	4	dd	Bn	9	dd	0 ～ 127
FILTER ボタン	9n	69	dd	9n	116	dd	OFF=0, ON=127
MOVE/**HOT CUE** 切換ボタン	9n	42	dd	9n	91	dd	OFF=0, ON=127
MODE DELETE ボタン	9n	45	dd	9n	94	dd	OFF=0, ON=127
SIZE ◄ ボタン、**1** ボタン、**5** ボタン	9n	46	dd	9n	95	dd	OFF=0, ON=127
SIZE ► ボタン、**2** ボタン、**6** ボタン	9n	47	dd	9n	96	dd	OFF=0, ON=127
◄ BWD ボタン、**3** ボタン、**7** ボタン	9n	48	dd	9n	97	dd	OFF=0, ON=127
FWD ► ボタン、**4** ボタン、**8** ボタン	9n	49	dd	9n	98	dd	OFF=0, ON=127
KEY LOCK ボタン	9n	26	dd	9n	86	dd	OFF=0, ON=127
TEMPO RANGE ボタン	9n	25	dd	9n	85	dd	OFF=0, ON=127
TEMPO スライダー	Bn Bn	0 32	MSB LSB	Bn Bn	5 37	MSB LSB	0 ～ 16383 －側で 0、＋側で 16383
ジョグダイヤル (回す)	Bn Bn	1 33	MSB LSB	Bn Bn	6 38	MSB LSB	前回操作からの差分カウント値 • 右回転：1 • 左回転：16383 ジョグダイヤルを 1 回転させたときの差分カウント累積は 2430 です。
ジョグダイヤル (天面を押す)	9n	54	dd	9n	103	dd	OFF=0, ON=127

インジケーター名	MIDI メッセージ（コンピューター→本機）						インジケーターの色	備考
	SHIFT ボタン OFF 時			SHIFT ボタン ON 時				
PLAY/PAUSE ►/II	9n	11	dd	9n	71	dd	黄緑	消灯 =0, 点灯 =127
CUE	9n	12	dd	9n	72	dd	オレンジ	消灯 =0, 点灯 =127
IN (**IN ADJUST**)	9n	16	dd	9n	76	dd	オレンジ	消灯 =0, 点灯 =127
OUT (**OUT ADJUST**)	9n	17	dd	9n	77	dd	オレンジ	消灯 =0, 点灯 =127
ACTIVE	9n	18	dd	9n	78	dd	オレンジ	消灯 =0, 点灯 =127
FUNCTION	9n	58	dd	9n	107	dd	赤	消灯 =0, 点灯 =127
FILTER	9n	69	dd	9n	116	dd	オレンジ	消灯 =0, 点灯 =127
MOVE	9n	43	dd	9n	92	dd	オレンジ	消灯 =0, 点灯 =127
HOT CUE	9n	44	dd	9n	93	dd	オレンジ	消灯 =0, 点灯 =127
MODE DELETE	9n	45	dd	9n	94	dd	オレンジ	消灯 =0, 点灯 =127
SIZE ◄、1、5	9n	46	dd	9n	95	dd	オレンジ	消灯 =0, 点灯 =127
SIZE ►、2、6	9n	47	dd	9n	96	dd	オレンジ	消灯 =0, 点灯 =127
◄ BWD、3、7	9n	48	dd	9n	97	dd	オレンジ	消灯 =0, 点灯 =127
FWD ►、4、8	9n	49	dd	9n	98	dd	オレンジ	消灯 =0, 点灯 =127
KEY LOCK	9n	26	dd	9n	86	dd	赤	消灯 =0, 点灯 =127

- n はチャンネル番号です。
  A デッキは 0、**B** デッキは 1、**C** デッキは 2、**D** デッキは 3 になります。
- [**SHIFT**] ボタンを押しながら操作したときは、[**SHIFT**] ボタン ON 時のコードになります。
- [**DECK** (**A**、**B**、**C**、**D**)] ボタンおよび [**SHIFT**] ボタンには MIDI メッセージの割り当てはありません。

3 ミキサー

SW 名			MIDI メッセージ（本機→コンピュータ）			備考
MAIN VOL ツマミ			B6	0	dd	0 ～ 127
HEADPHONES MIX ツマミ			B6	1	dd	0 ～ 127
HEADPHONES VOL ツマミ			B6	2	dd	0 ～ 127
GAIN ツマミ		**A** デッキ	B6	3	dd	0 ～ 127
		B デッキ	B6	4	dd	0 ～ 127
		C デッキ	B6	5	dd	0 ～ 127
		D デッキ	B6	6	dd	0 ～ 127
EQ [**HI**] ツマミ		**A** デッキ	B6	7	dd	0 ～ 127
		B デッキ	B6	8	dd	0 ～ 127
		C デッキ	B6	9	dd	0 ～ 127
		D デッキ	B6	10	dd	0 ～ 127
EQ [**MID**] ツマミ		**A** デッキ	B6	11	dd	0 ～ 127
		B デッキ	B6	12	dd	0 ～ 127
		C デッキ	B6	13	dd	0 ～ 127
		D デッキ	B6	14	dd	0 ～ 127
EQ [**LOW**] ツマミ		**A** デッキ	B6	15	dd	0 ～ 127
		B デッキ	B6	16	dd	0 ～ 127
		C デッキ	B6	17	dd	0 ～ 127
		D デッキ	B6	18	dd	0 ～ 127
エフェクトアサインボタン	**1** ボタン	**A** デッキ	96	76	dd	OFF=0, ON=127
		B デッキ	96	77	dd	OFF=0, ON=127
		C デッキ	96	78	dd	OFF=0, ON=127
		D デッキ	96	79	dd	OFF=0, ON=127
	2 ボタン	**A** デッキ	96	80	dd	OFF=0, ON=127
		B デッキ	96	81	dd	OFF=0, ON=127
		C デッキ	96	82	dd	OFF=0, ON=127
		D デッキ	96	83	dd	OFF=0, ON=127
ヘッドホン **CUE** ボタン		**A** デッキ	96	84	dd	OFF=0, ON=127
		B デッキ	96	85	dd	OFF=0, ON=127
		C デッキ	96	86	dd	OFF=0, ON=127
		D デッキ	96	87	dd	OFF=0, ON=127

SW 名		MIDI メッセージ (本機→コンピュータ)			備考
SYNC ボタン	**A** デッキ	96	88	dd	OFF=0, ON=127
	B デッキ	96	89	dd	OFF=0, ON=127
	C デッキ	96	90	dd	OFF=0, ON=127
	D デッキ	96	91	dd	OFF=0, ON=127
MASTER ボタン	**A** デッキ	96	92	dd	OFF=0, ON=127
	B デッキ	96	93	dd	OFF=0, ON=127
	C デッキ	96	94	dd	OFF=0, ON=127
	D デッキ	96	95	dd	OFF=0, ON=127
チャンネルフェーダー	**A** デッキ	B6	19	dd	0 ～ 127
	B デッキ	B6	21	dd	0 ～ 127
	C デッキ	B6	23	dd	0 ～ 127
	D デッキ	B6	25	dd	0 ～ 127
CH FADER START スイッチ	**A** デッキ	96	96	dd	OFF=0, ON=127
	B デッキ	96	97	dd	OFF=0, ON=127
	C デッキ	96	98	dd	OFF=0, ON=127
	D デッキ	96	99	dd	OFF=0, ON=127
クロスフェーダー		B6	31	dd	0 ～ 127 左側で 0、右側で 127

インジケーター名			MIDI メッセージ (コンピュータ→本機)			インジケーターの色	備考
エフェクトアサインボタン	**1**	**A** デッキ	9n	76	dd	オレンジ	消灯 =0, 点灯 =127
		B デッキ	9n	77	dd	オレンジ	消灯 =0, 点灯 =127
		C デッキ	9n	78	dd	オレンジ	消灯 =0, 点灯 =127
		D デッキ	9n	79	dd	オレンジ	消灯 =0, 点灯 =127
	2	**A** デッキ	9n	80	dd	オレンジ	消灯 =0, 点灯 =127
		B デッキ	9n	81	dd	オレンジ	消灯 =0, 点灯 =127
		C デッキ	9n	82	dd	オレンジ	消灯 =0, 点灯 =127
		D デッキ	9n	83	dd	オレンジ	消灯 =0, 点灯 =127
ヘッドホン **CUE**		**A** デッキ	9n	84	dd	オレンジ	消灯 =0, 点灯 =127
		B デッキ	9n	85	dd	オレンジ	消灯 =0, 点灯 =127
		C デッキ	9n	86	dd	オレンジ	消灯 =0, 点灯 =127
		D デッキ	9n	87	dd	オレンジ	消灯 =0, 点灯 =127
SYNC		**A** デッキ	9n	88	dd	オレンジ	消灯 =0, 点灯 =127
		B デッキ	9n	89	dd	オレンジ	消灯 =0, 点灯 =127
		C デッキ	9n	90	dd	オレンジ	消灯 =0, 点灯 =127
		D デッキ	9n	91	dd	オレンジ	消灯 =0, 点灯 =127
MASTER		**A** デッキ	9n	92	dd	赤	消灯 =0, 点灯 =127
		B デッキ	9n	93	dd	赤	消灯 =0, 点灯 =127
		C デッキ	9n	94	dd	赤	消灯 =0, 点灯 =127
		D デッキ	9n	95	dd	赤	消灯 =0, 点灯 =127

4 エフェクト

SW 名	MIDI メッセージ (本機→コンピュータ)						備考
	SHIFT ボタン OFF 時			SHIFT ボタン ON 時			
ADVANCED/CHAINED 切換ボタン	9n	64	dd	9n	92	dd	OFF=0, ON=127
DRY/WET ツマミ	Bn	0	dd	Bn	16	dd	0 ～ 127
SELECT/BACK 1 ボタン	9n	68	dd	9n	96	dd	OFF=0, ON=127
SELECT/BACK 2 ボタン	9n	69	dd	9n	97	dd	OFF=0, ON=127
SELECT/BACK 3 ボタン	9n	70	dd	9n	98	dd	OFF=0, ON=127
エフェクトコントロール **1** ツマミ	Bn	2	dd	Bn	18	dd	0 ～ 127
エフェクトコントロール **2** ツマミ	Bn	4	dd	Bn	20	dd	0 ～ 127
エフェクトコントロール **3** ツマミ	Bn	6	dd	Bn	22	dd	0 ～ 127
エフェクトコントロール **1** ボタン	9n	71	dd	9n	99	dd	OFF=0, ON=127
エフェクトコントロール **2** ボタン	9n	72	dd	9n	100	dd	OFF=0, ON=127
エフェクトコントロール **3** ボタン	9n	73	dd	9n	101	dd	OFF=0, ON=127
エフェクトボタン	9n	67	dd	9n	95	dd	OFF=0, ON=127

インジケーター名	MIDI メッセージ (コンピューター→本機)						インジケーターの色	備考
	SHIFT ボタン OFF 時			SHIFT ボタン ON 時				
ADVANCED	9n	65	dd	9n	93	dd	オレンジ	消灯 =0, 点灯 =127
CHAINED	9n	66	dd	9n	94	dd	オレンジ	消灯 =0, 点灯 =127
エフェクトコントロール **1** ボタン	9n	71	dd	9n	99	dd	オレンジ	消灯 =0, 点灯 =127
エフェクトコントロール **2** ボタン	9n	72	dd	9n	100	dd	オレンジ	消灯 =0, 点灯 =127
エフェクトコントロール **3** ボタン	9n	73	dd	9n	101	dd	オレンジ	消灯 =0, 点灯 =127
エフェクト	9n	67	dd	9n	95	dd	オレンジ	消灯 =0, 点灯 =127

- n はチャンネル番号です。
  エフェクトアサインボタン **1** は 4、エフェクトアサインボタン **2** は 5 になります。
- [**SHIFT**] ボタンを押しながら操作したときは、[**SHIFT**] ボタン ON 時のコードになります。

保証とアフターサービス

修理に関するご質問、ご相談

裏表紙に記載の修理受付窓口、またはお買い求めの販売店にご相談ください。

保証書（別添）

保証書は必ず「販売店名･購入日」などの記入を確かめて販売店から受け取り、内容をよく読んで大切に保管してください。

保証期間は購入日から 1 年間です。

補修用性能部品の最低保有期間

当社はこの製品の補修用性能部品を製造打ち切り後、8 年間保有しています。性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。

修理を依頼されるとき

本書の 26ページ の「故障かな？と思ったら」をお読みいただき、故障かどうかご確認ください。それでも正常に動作しないときには、必ず電源プラグを抜いてから、次の要領で修理を依頼してください。

連絡していただきたい内容

- ご住所
- お名前
- お電話番号
- 製品名：DJ コントローラー
- 型番：DDJ-T1
- お買い上げ日
- 故障または異常の内容
  「いつ、どのくらいの頻度で、どのような操作で、どうなる」といった詳細

保証期間中は

修理に際しましては、保証書をご提示ください。保証書に記載されている弊社保証規定に基づき修理いたします。

本機は一般家庭用機器として作られたものです。一般家庭用以外（例えば飲食店等での営業用の長時間使用、車輛、船舶への搭載使用）で使用し、故障した場合は、保証期間内でも有償修理を承ります。

K041_A1_Ja

保証期間を過ぎているときは

修理すれば使用できる製品については、ご希望により有料で修理いたします。

商標および登録商標について

- Pioneer はパイオニア株式会社の登録商標です。
- Microsoft®、Windows Vista®、Windows®、Internet Explorer® は米国 Microsoft Corporation の米国およびその他の国における登録商標または商標です。
- Apple、Macintosh、Mac OS、Safari、iTunes、および Finder は、米国および他の国々で登録された Apple Inc. の商標です。
- Intel および Pentium は、米国およびその他の国における Intel Corporation の商標です。
- ASIO は Steinberg Media Technologies GmbH の商標です。
- TRAKTOR は Native Instruments 社の登録商標です。
- AMD Athlon は、Advanced Micro Devices, Inc. の商標です。

その他記載されている会社名および製品名等は、各社の登録商標または商標です。

本製品は非営利的使用のためのみにライセンスされております。営利的目的での（収益の発生するような）、実際の放送（地上波放送･衛星放送･有線放送･あるいは他のメディアを利用した放送）、インターネットやイントラネット（企業内ネット）あるいは他のネットワークを利用した放送･ストリーミング、またその他の電子的情報を提供するシステム（音楽の有料配信など）のためにはライセンスされておりません。このような使用には個別にライセンスを取得する必要があります。詳しくは http://www.mp3licensing.com をご参照ください。

著作権についてのご注意

あなたが録音したものは、個人として楽しむなどの他は、著作権法上、権利者に無断で使用できません。

- CD などから録音される音楽は、各国の著作権法ならびに国際条約で保護されています。また、録音した者自身が、それを合法的に使用する上でのすべての責任を負います。
- インターネットなどからダウンロードされる音楽を取り扱う際は、ダウンロードした者自身が、ダウンロードサイトとの契約に則ってそれを使用する上でのすべての責任を負います。

仕様

AC アダプター

電源 .... AC 100 V ～ 240 V、50 Hz/60 Hz
定格電流 .... 300 mA
定格出力 .... DC 5 V、2 A

本体一般

消費電流 (AC アダプター使用時) .... 700 mA
本体質量 .... 4.9 kg
最大外形寸法
................680 mm（幅）× 95.2 mm（高さ）× 318 mm（奥行）
許容動作温度... + 5 ˚ C ～+ 35 ˚ C
許容動作湿度... 5 %～ 85 %（結露のないこと）

オーディオ部

定格出力レベル
- **MASTER OUT 1**... 4.2 Vrms
- **MASTER OUT 2**... 2.1 Vrms

全高調波歪率
- **MASTER OUT 1**... 0.006 %
- **MASTER OUT 2**... 0.006 %

周波数特性
- **MASTER OUT 1**... 20 Hz ～ 20 kHz
- **MASTER OUT 2**... 20 Hz ～ 20 kHz

S/N 比 (コンピュータ再生時)
- **MASTER OUT 1**... 103 dB (定格出力時)
- **MASTER OUT 2**... 103 dB (定格出力時)

入力インピーダンス
- **AUX** .... 24 kΩ
- **MIC** .... 10 kΩ

出力インピーダンス
- **MASTER OUT 1**... 1 kΩ 以下
- **MASTER OUT 2**... 1 kΩ 以下
- **PHONES**... 41 Ω

入力 / 出力端子
- **USB** 端子
  - B タイプ .... 1 系統
- **MASTER OUT 1** 出力端子
  - TRS フォーンジャック (Ø 6.3 mm) .... 1 系統
- **MASTER OUT 1** 出力端子
  - RCA ピンジャック .... 1 系統
- **PHONES** 出力端子
  - ステレオフォーンジャック (Ø 6.3 mm)... 1 系統
  - ステレオミニフォーンジャック (Ø 3.5 mm) .... 1 系統
- **AUX** 入力端子
  - RCA ピンジャック .... 1 系統
- **MIC** 入力端子
  - フォーンジャック (Ø 6.3 mm) .... 1 系統

本機および付属ソフトウェアの仕様および外観は改良のため予告なく変更することがあります。

<各窓口へのお問い合わせの時のご注意>
「0120」で始まる フリーコールおよび フリーコールは、携帯電話・PHSなどからは、ご使用になれません。
また、【一般電話】は、携帯電話・PHSなどからご利用可能ですが、通話料がかかります。

ご相談窓口のご案内 ※番号をよくお確かめの上でおかけいただきますようお願いいたします

パイオニア商品の修理・お取り扱い（取り付け・組み合わせなど）については、お買い求めの販売店様へお問い合わせください。

商品についてのご相談窓口

● 商品のご購入や取り扱い、故障かどうかのご相談窓口およびカタログのご請求について

カスタマーサポートセンター（全国共通フリーコール）

受付時間　月曜～金曜9:30～18:00、土曜9:30～12:00、13:00～17:00（日曜・祝日・弊社休業日は除く）

■家庭用オーディオ/ビジュアル商品	0120－944－222	一般電話　044－572－8102
■ファックス	044－572－8103	
■インターネットホームページ	http://pioneer.jp/support/ ※商品についてよくあるお問い合わせ・メールマガジン登録のご案内・お客様登録など	

修理窓口のご案内 ※番号をよくお確かめの上でおかけいただきますようお願いいたします

修理をご依頼される場合は、取扱説明書の『故障かな？と思ったら』を一度ご覧になり、故障かどうかご確認ください。それでも正常に動作しない場合は、①型名②ご購入日③故障症状を具体的に、ご連絡ください。

修理についてのご相談窓口

● お買い求めの販売店に修理の依頼が出来ない場合

修理受付窓口

受付時間　月曜～金曜9:30～18:00、土曜9:30～12:00、13:00～17:00（日曜・祝日・弊社休業日は除く）

■電話	0120－5－81028（ゴーハイオニア）	一般電話　044－572－8100
■ファックス	0120－5－81029	
■インターネットホームページ	http://pioneer.jp/support/repair/ ※家庭用オーディオ/ビジュアル商品はインターネットによる修理のお申し込みを受付けております	

沖縄サービス認定店（沖縄県のみ）

受付時間　月曜～金曜9:30～18:00（土曜・日曜・祝日・弊社休業日は除く）

■一般電話	098－987－1120
■ファックス	098－987－1121

部品のご購入についてのご相談窓口

● 部品（付属品、リモコン、取扱説明書など）のご購入について

部品受注センター

受付時間　月曜～金曜9:30～18:00、土曜9:30～12:00、13:00～17:00（日曜・祝日・弊社休業日は除く）

■電話	0120－5－81095	一般電話　044－572－8107
■ファックス	0120－5－81096	

平成23年4月現在　記載内容は、予告なく変更させていただくことがありますので予めご了承ください。　VOL.044

© 2011 パイオニア株式会社　禁無断転載

パイオニア株式会社　〒212-0031 神奈川県川崎市幸区新小倉1番1号

<DRA1459-A>